
海陽町 教育振興計画策定に関する
アンケート調査
(住民)

－ 報 告 書 －

令和７年１１月

海陽町 教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	2
1	あなたご自身について	2
①	居住地区	2
②	性別	2
③	年齢	3
④	職業	3
⑤	世帯構成	4
⑥	同居している児童・生徒	4
III	集計結果	5
2	生涯学習について	5
問1	関心のある学習活動の分野	5
問2	阿波海南文化村に対する満足度	8
問3	阿波海南文化村で開催された行事への参加	9
問4	阿波海南文化村で体験・見学してみたいこと	10
3	防災教育について	13
問5	地震津波碑について	13
問5-1	地震津波碑を知ったきっかけ	14
4	運動と健康について	15
問6	運動をする頻度	15
問6-1	運動をする理由	16
問6-2	運動をしない理由	17
問7	町主催の行事に対する参加状況・認知度	18
問8	町民のスポーツ・健康づくりを推進するには	19
5	地域と学校教育とのかかわりについて	21
問9	子どもの教育と地域のかかわりに必要なこと	21
問10	「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」について	23
問11	町内の小・中学校の教育への協力	24
問11-1	協力したいこと・協力できること	25
6	町内の小・中学校の現状について	26
問12	充実・改善してほしい学校の施設・設備について	26
問13	児童・生徒の減少が子どもに与える影響	29
問14	学校再編・統合に関するご意見	32
問15	海陽町の学校教育に関するご意見	34

I 調査の概要

- 1 調査時期：令和7年9月26日～10月10日
- 2 調査対象者：海陽町内に居住する満18歳以上の男女
- 3 配付数：500人
- 4 調査方法：住民基本台帳から無作為抽出
- 5 配布方法：郵送配布、回収もしくはWEB回答
- 6 回収率等：

調査票	配布数	有効回収数	有効回収率
住民アンケート	500件	197件	39.4% (うち、WEB回答 35.0%)

4 報告書の見方について

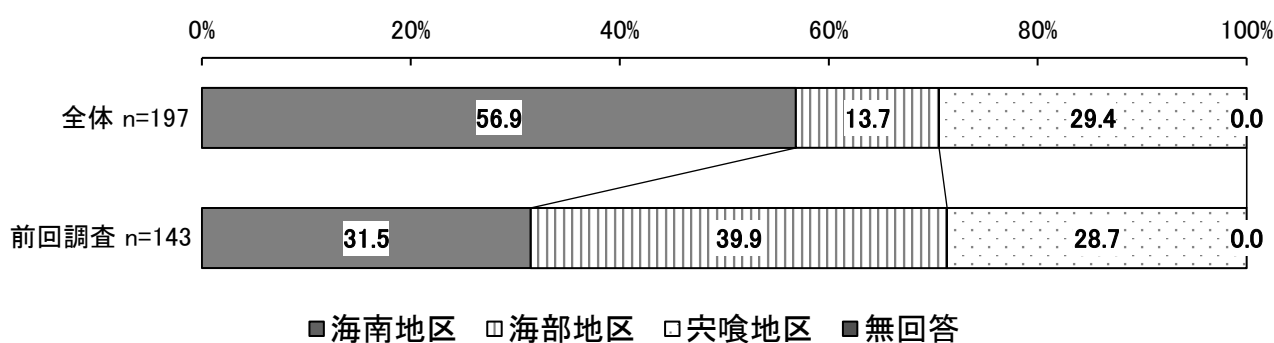
- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「未回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数です。

II 回答者の属性

1. あなたご自身について

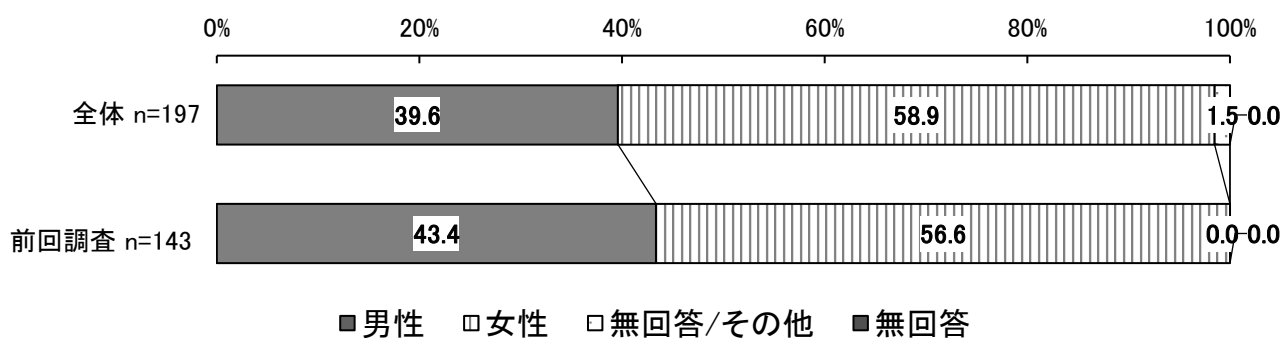
① 居住地区 お住まいの地区はどこですか。小学校区でお答えください。(○は1つ)

回答者の居住地区は、「海南地区」56.9%、「海部地区」13.7%、「穴喰地区」29.4%となっています。



② 性別 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

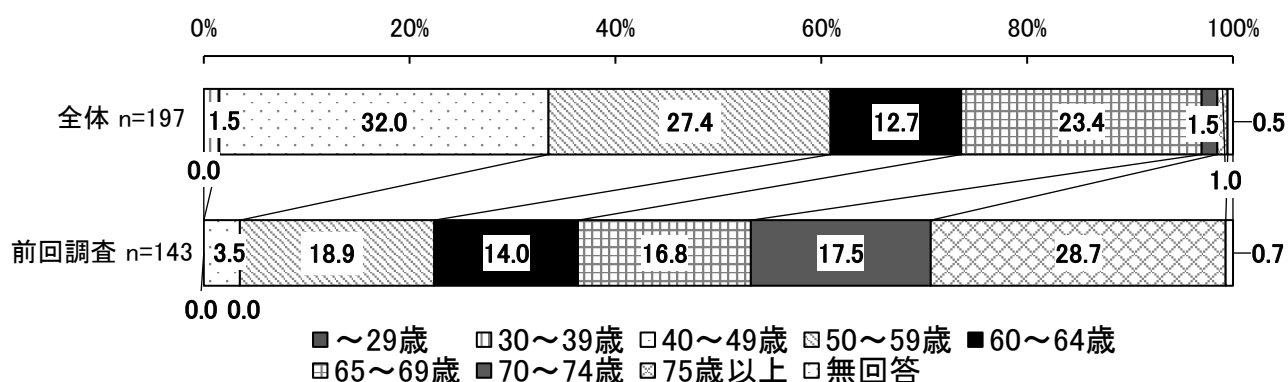
回答者の性別は、男性が39.6%、女性が58.9%となっています。女性が19.3ポイント、男性を上回っています。



③ 年齢 あなたの年齢をお答えください。(令和7年8月1日時点)(数字を記入)

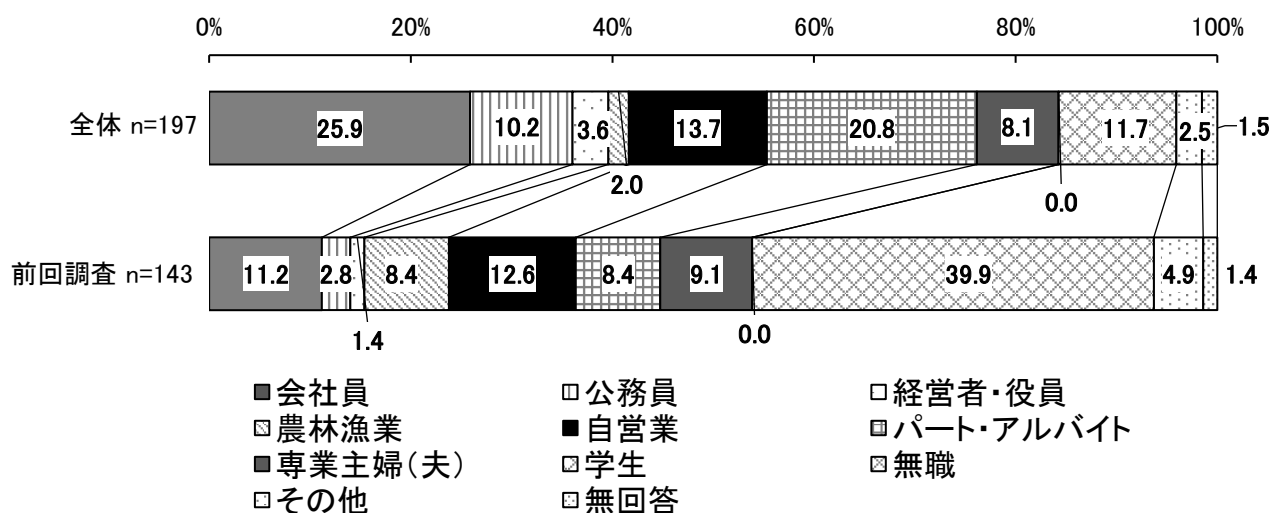
回答者の年齢は、上位から「40～49歳」32.0%、「50～59歳」27.4%、「65～69歳」23.4%、「60～64歳」12.7%などの順となっています。

年齢を3区分した場合、「59歳以下」60.9%、「60～69歳」36.1%、「70歳以上」2.5%となります。



④ 職業 現在の職業をお答えください。(○は1つ)

回答者の職業は、上位から「会社員」25.9%、「パート・アルバイト」20.8%、「自営業」13.7%、「無職」11.7%、「公務員」10.2%、「専業主婦(夫)」が8.1%となっています。

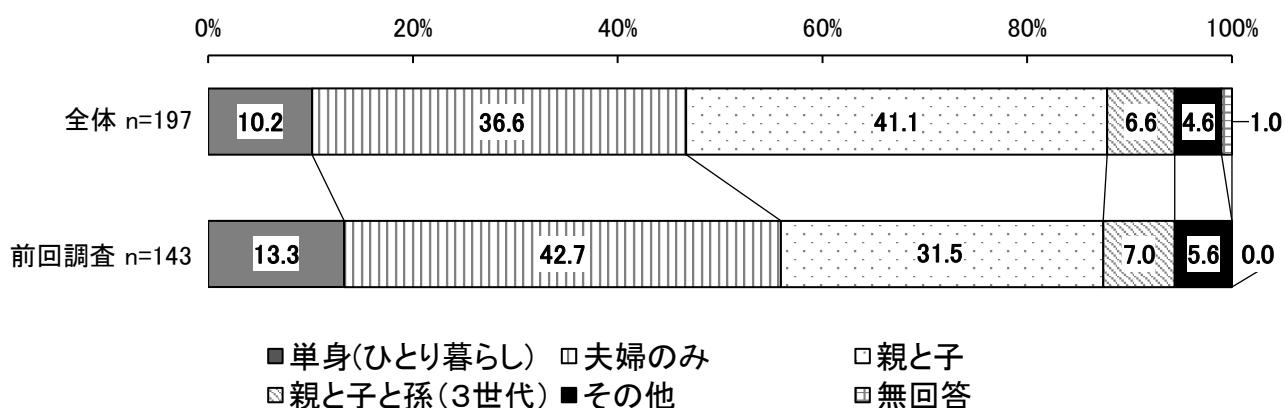


(その他の回答)

- ・団体職員
- ・派遣社員

⑤ 世帯構成 あなたの世帯をお答えください。(○は1つ)

回答者の世帯構成は、上位から「親と子」41.1%、「夫婦のみ」36.6%、「単身（ひとり暮らし）」10.2%などの順となっています。



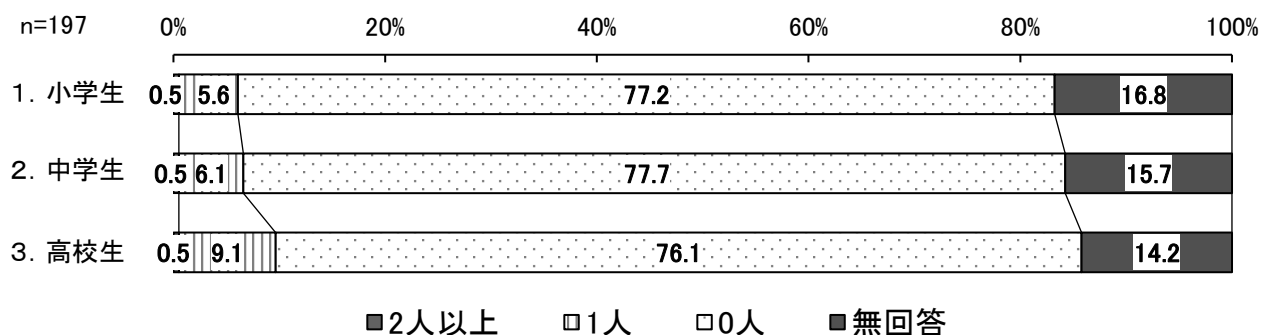
(その他の回答)

・兄弟

⑥ 同居している児童・生徒

一緒にお住まいの方に、小学生から高校生までのお子さんがいましたら、それぞれの人数をお答えください。(数字を記入) ※いらない場合は「0」とご記入ください。

同居している児童・生徒について、「0人」がいずれの項目で7割を超えています。“1人以上”(「2人以上」と「1人」の合計。)は小学生6.1%、中学生6.6%、高校生9.6%と1割未満となっています。



Ⅲ 集計結果

2. 生涯学習について

問1 関心のある学習活動の分野

あなたが関心のある学習活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

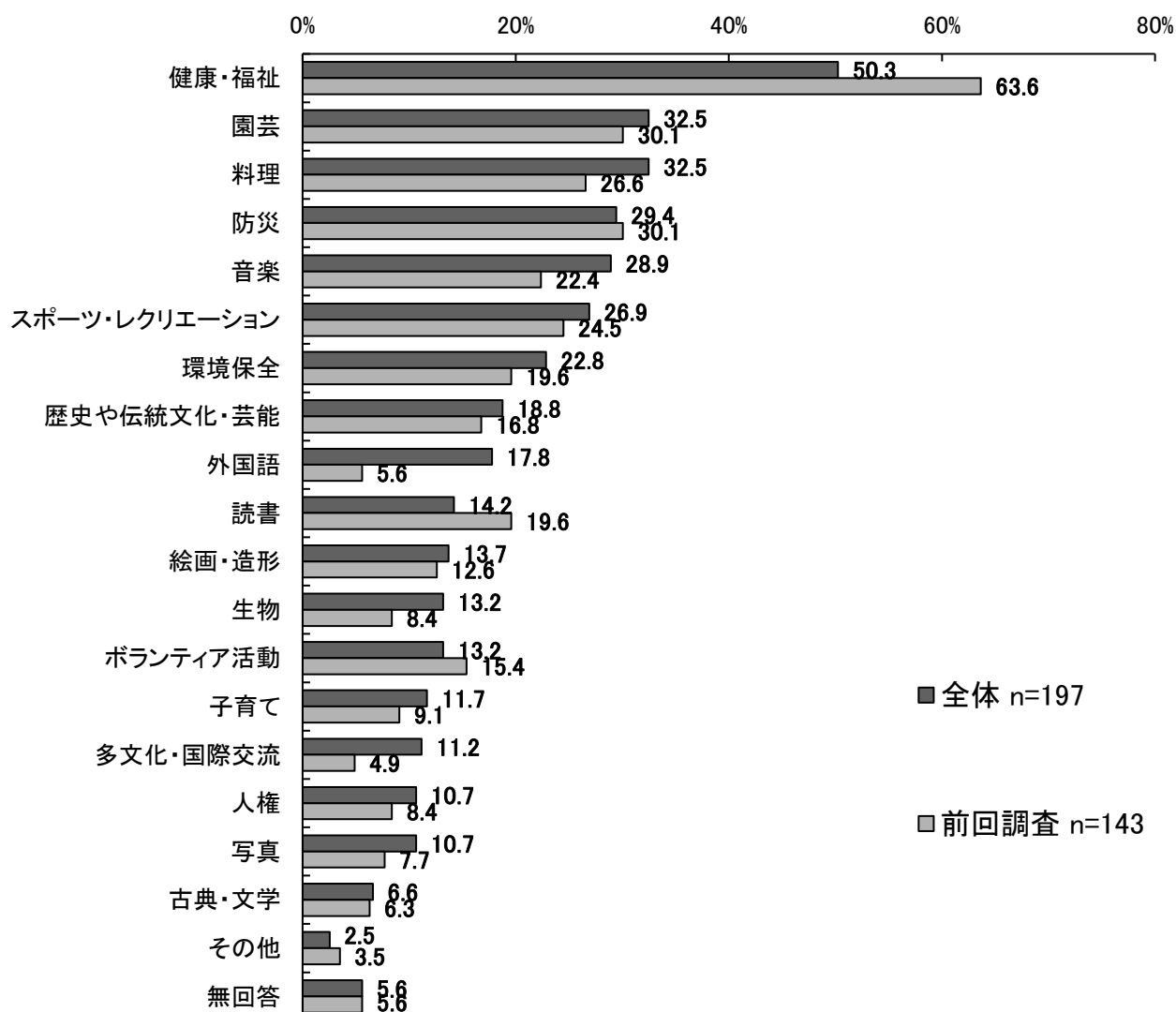
関心のある学習活動の分野について、全体では、「健康・福祉」が50.3%と他を大きく上回り、次いで「園芸」及び「料理」が32.5%、「防災」29.4%、「音楽」28.9%となっています。

前回調査と比較すると、「健康・福祉」が13.3ポイント減少し、「外国語」が12.2ポイント増加しています。

性別でみると、男性は、上位から「健康・福祉」44.9%、「防災」28.2%、「スポーツ・レクリエーション」26.9%となっています。同様に、女性は「健康・福祉」53.5%、「料理」41.4%、「園芸」38.8%となっています。

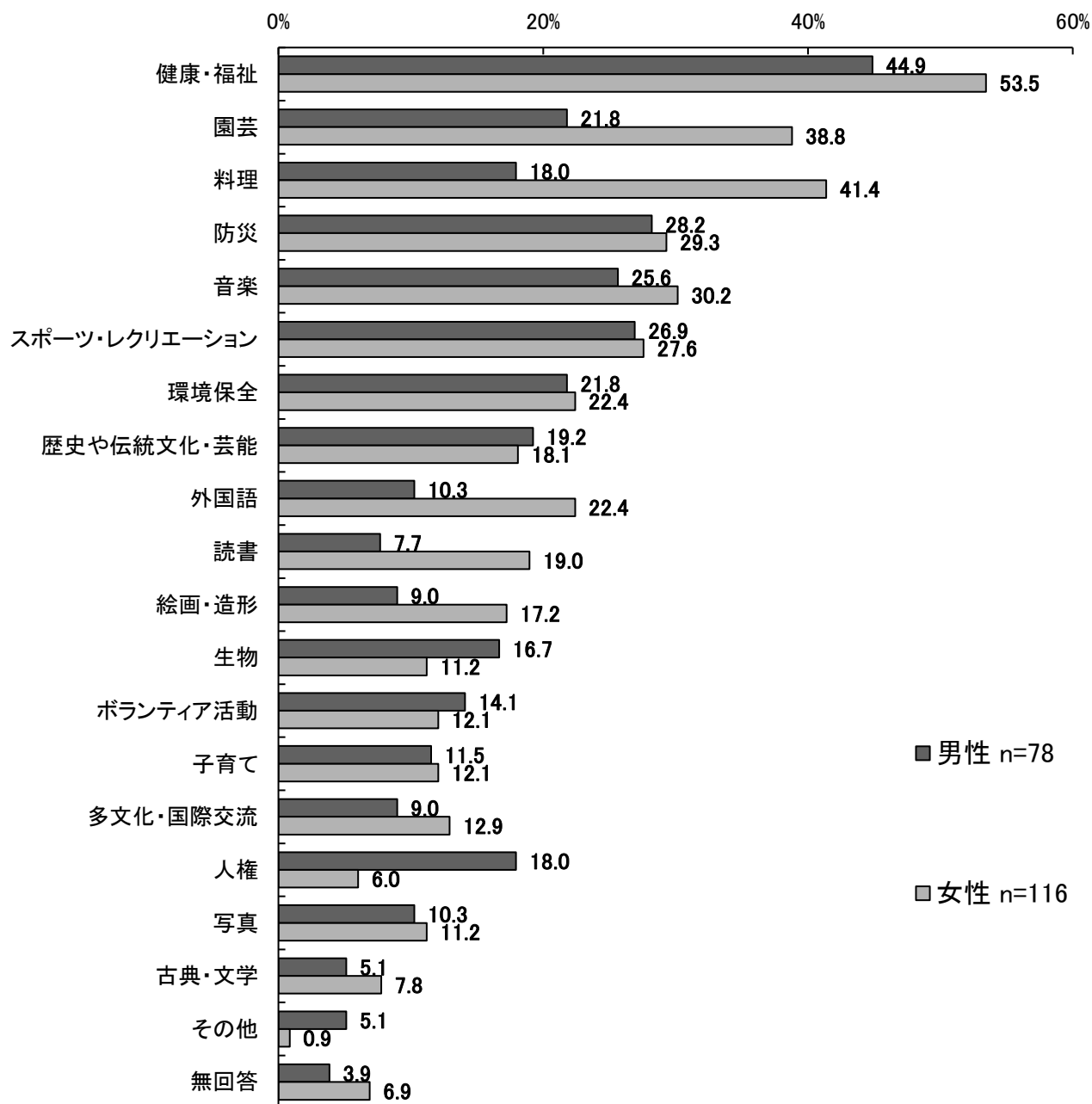
年齢別でみると、59歳以下及び60～69歳で最も割合が高いのは「健康・福祉」で、ともに40%を超えています。

【全体・前回調査】

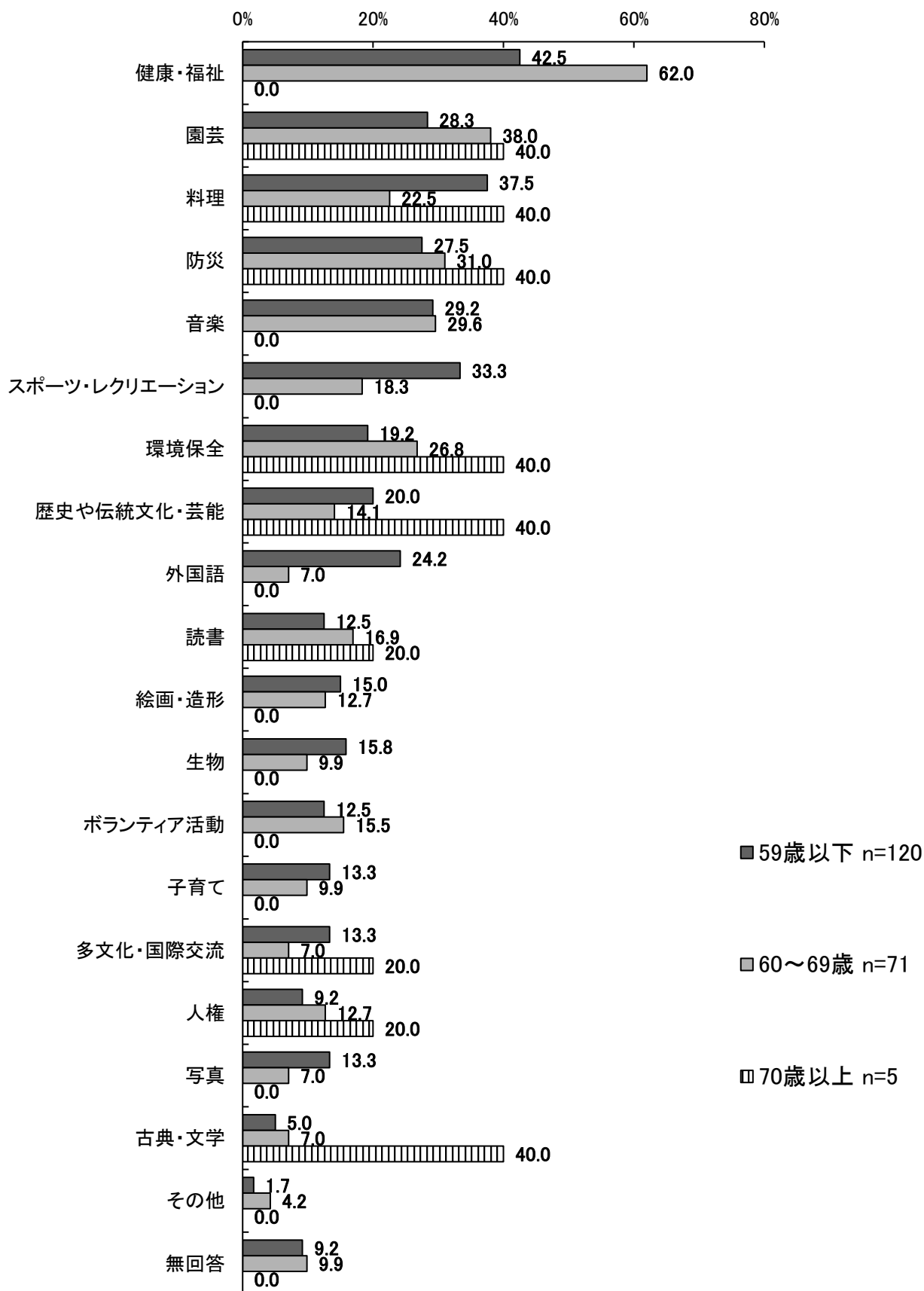


(その他の回答) 植物、食器、食材、エネルギー、理科、ゲーム、編み物、特になし

【性別】



【年齢】



問 2 阿波海南文化村に対する満足度

阿波海南文化村の各施設について、あなたの満足度をお答えください。

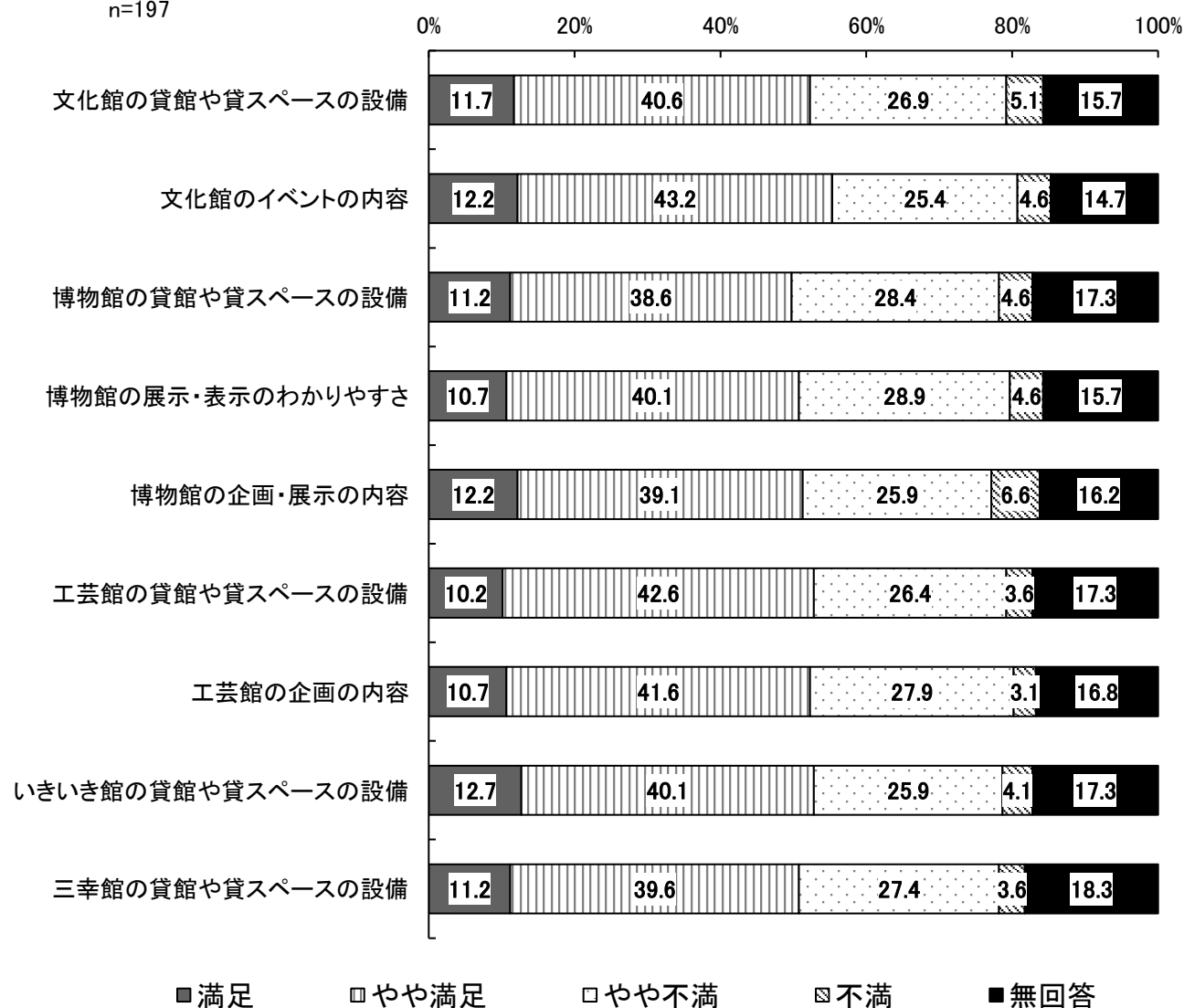
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

阿波海南文化村の各施設の満足度は、すべての分野で“満足している”(「満足」と「やや満足」の合計。)が50%程度となっています。

一方で、“不満である”(「やや不満」と「不満」の合計。)は、すべての分野で3割前後を占めています。

【全体】

n=197



問 3 阿波海南文化村で開催された行事への参加

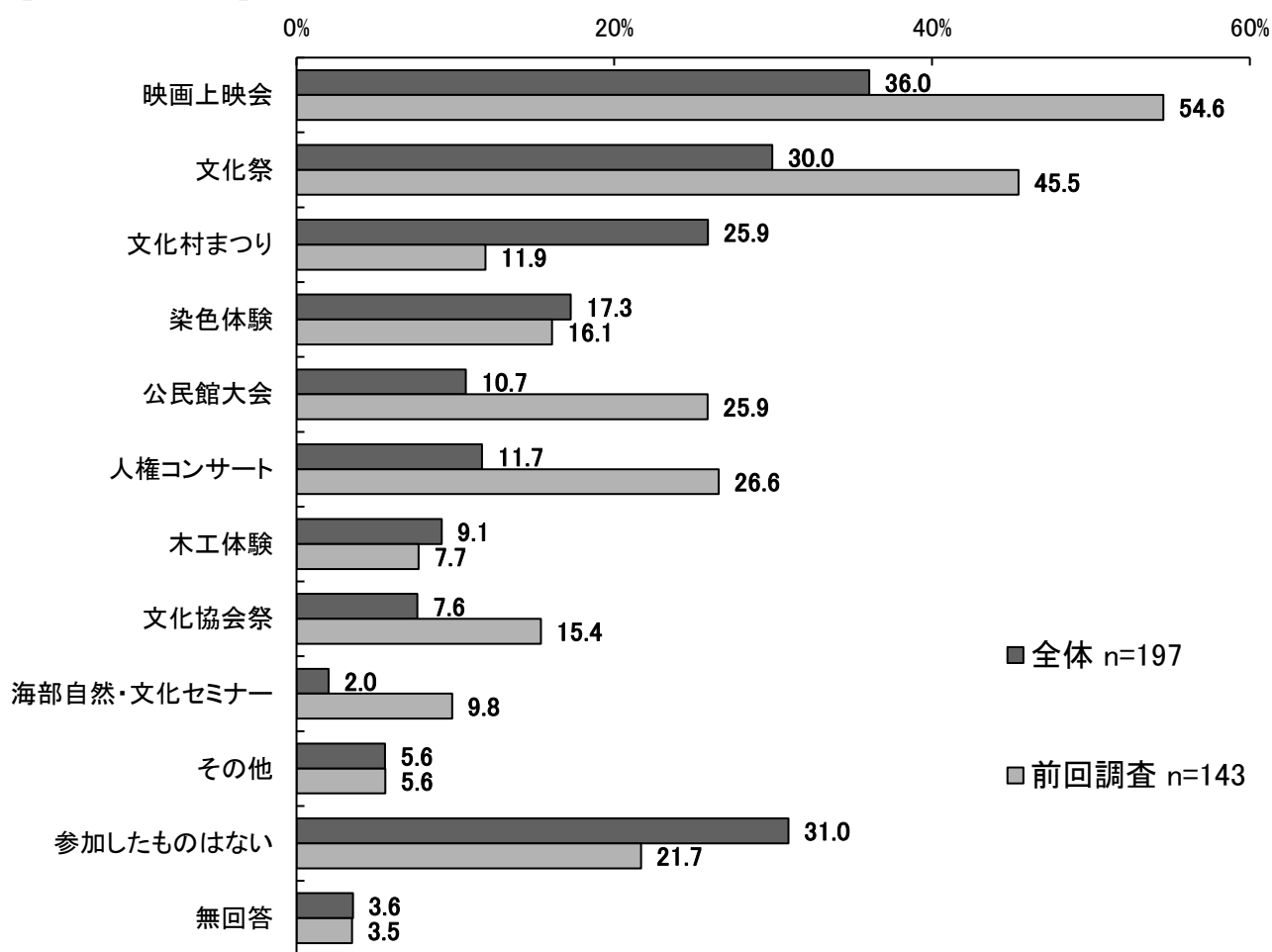
阿波海南文化村で開催された行事の中で、あなたが今までに参加したものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

阿波海南文化村で開催された行事の中で、今までに参加したものは、「映画上映会」が 36.0%と最も高く、次いで「文化祭」30.0%、「文化村まつり」25.9%となっており、20%を超えるのは以上の3行事です。

一方で、「参加したものはない」は31.0%となっています。

前回調査と比較すると、「文化村まつり」が 14.0 ポイント増加している一方で、「映画上映会」、「文化祭」、「公民館大会」、「人権コンサート」がそれぞれ 10 ポイント以上減少しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・成人式
- ・コンサート
- ・発表会（演劇、ピアノ、バレエ）
- ・ラジオ収録
- ・テレビ収録

問4 阿波海南文化村で体験・見学してみたいこと

阿波海南文化村の各施設で、あなたが体験したいことや見学したいこと、またはやってみたいことをお答えください。（自由記述）

文化館

- ・映画、コンサート
- ・アコースティックギターやリュートピアノなどデジタルではないアナログな音楽を聞きたいです
- ・茶室をもう少し茶室として活用してほしい。文化祭協会祭高校の文化部の発表会など
- ・映画・コンサート・公民館大会
- ・映画やコンサートを増やしてほしい。
- ・コンサート
- ・著名人の講演会
- ・各界で活躍している人の講演会・音楽コンサートを開催してほしい
- ・ピアノ発表会と料理教室に参加する
- ・海南地区の文化に驚きとその高さに少し興奮と感動を覚えた日の事を今でも鮮明に覚えています。
- ・イベント《有名芸能人）コンサート等
- ・有名人によるコンサート
- ・映画上映会
- ・書道
- ・行った事がないので わからない
- ・映画、コンサート見たい
- ・ミュージカル、お能、狂言、オーケストラ、和楽器などの鑑賞
- ・お芝居、ミュージカル
- ・コンサートを観たい
- ・遠くの会場まで行けない人が多いので、いろんなコンサートを開催してほしい。
- ・コンサート
- ・色々な分野の音楽や話題の映画鑑賞
- ・有名人のコンサート
- ・歌舞伎やお芝居等が観たい
- ・美術展

博物館

- ・見学したい
- ・今のままでいい。
- ・モノクロのなつかしい写真展
- ・古墳展
- ・多良の古墳についての経過
- ・海陽町の歴史
- ・地域の歴史や文化を伝える魅力ある企画展を開催してほしい

- ・都市部で行われているような内容の絵画一部芸能人等ひらかれているような展示物の設置
- ・中学生や高校生の作品を展示してほしい
- ・多良古墳関連の出土品展
- ・行った事がないので わからない
- ・ゆかりのある方の展示やイベント
- ・海の生き物
- ・今のままでいいと思う。
- ・古代文明の企画展
- ・海陽町の歴史が知りたい

工芸館

- ・木工体験で家具を作ってみたい
- ・木工体験のこぎりやカンナの使い方を学びたい
- ・お正月飾り作成
- ・体験的な事をもう少し増やしてほしい
- ・染色用のベースになる白い小物を作る（シュシュ等）染色も楽しそうだけど「実用的なのか？」とってしまう。木工とかも。予約とか半日位滞在するのが難しい
- ・粘土細工
- ・染色体験
- ・染色体験・竹あかり？等・工作
- ・絵手紙教室があったらいいと思う。徳島の工芸品の展示と販売があったらいいと思う
一度訪れてみたいと思っています
- ・竹細工
- ・カゴ作り 陶芸教室

行った事がないので わからない

- ・DIY 教室
- ・藍染め、草木染め、ガーデニング寄せ植え、鉢作り
- ・陶芸
- ・染色
- ・染色体験で染色できる綿素材の商品（例 巾着袋、大きな風呂敷(バッグとして代用できる))などを増やしてほしい。
- ・クリスマスリースや門松等などが作りたい（リーズナブルなお値段で）

いきいき館

- ・今のままでいい。
- ・できれば和室で着物の着付け教室をしてほしい
- ・他校との交流も考えて他府県等の優秀作品の展示
- ・行った事がないので わからない
- ・子育て時代によく利用させて貰ったので満足です

三幸館

- ・自由に使用できる場所にしてほしい
- ・地域の特産物の販売
- ・地元野菜等を使用した料理教室、地元の野菜を使用した時短、おかず、レシピ、デザート教室
- ・バル
- ・料理教室
- ・行った事がないので わからない
- ・地元のおばあちゃん達が作ったお寿司やおはぎ、ういろう等を売ってほしい。観光客にも買ってほしい。

3. 防災教育について

問5 地震津波碑について

あなたは、地震津波碑（過去の被害記録や減災への教訓が刻まれている石碑）が町内にあることを知っていますか。（○は1つ）

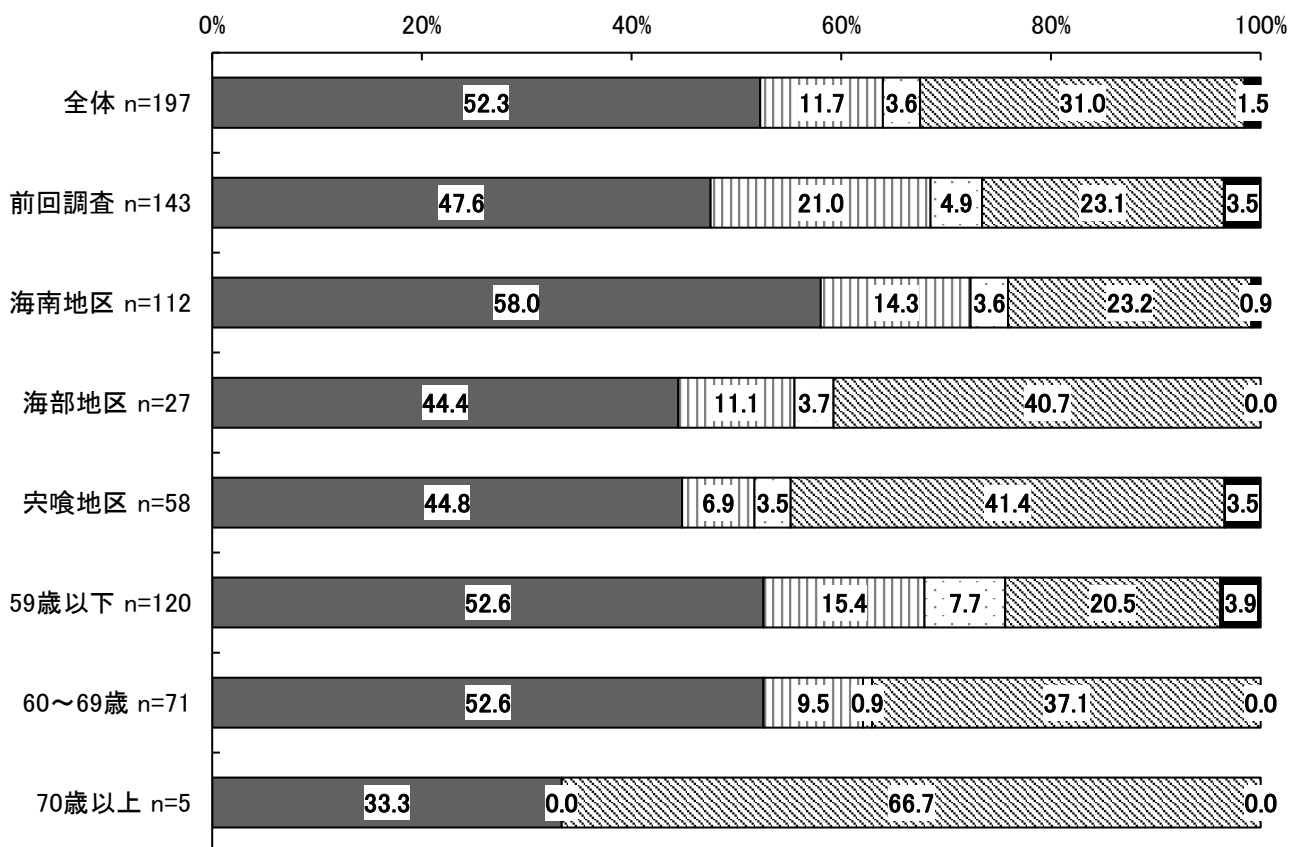
地震津波碑の認知度は、全体では、“知っている”（「知っている、見たこともある」、「知っている、今後見たいと思っている」、「知っているが、見たことはないし、今後見たいとも思わない」の合計。以下同様）が67.6%と、「知らなかった」の31.0%を36.6ポイント上回っています。

前回調査と比較すると、“知っている”の割合が5.9ポイント減少し、「知らなかった」が7.9ポイント増加しており、認知度が低下しています。

居住地区別にみると、“知っている”の割合が最も高いのは海南地区（75.9%）で、最も低い穴喰地区（55.2%）と比較すると20.7ポイントの差があります。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、“知っている”の割合が低くなり、59歳以下（75.7%）と70歳以上（33.3%）を比較すると、42.4ポイントの差となっています。

【全体・前回調査・居住地区・年齢】



- 知っている、見たこともある
- 知っている、今後見たいと思っている
- 知っているが、見たことはないし、今後見たいとも思わない。
- 知らなかった
- 無回答

問 5-1 地震津波碑を知ったきっかけ

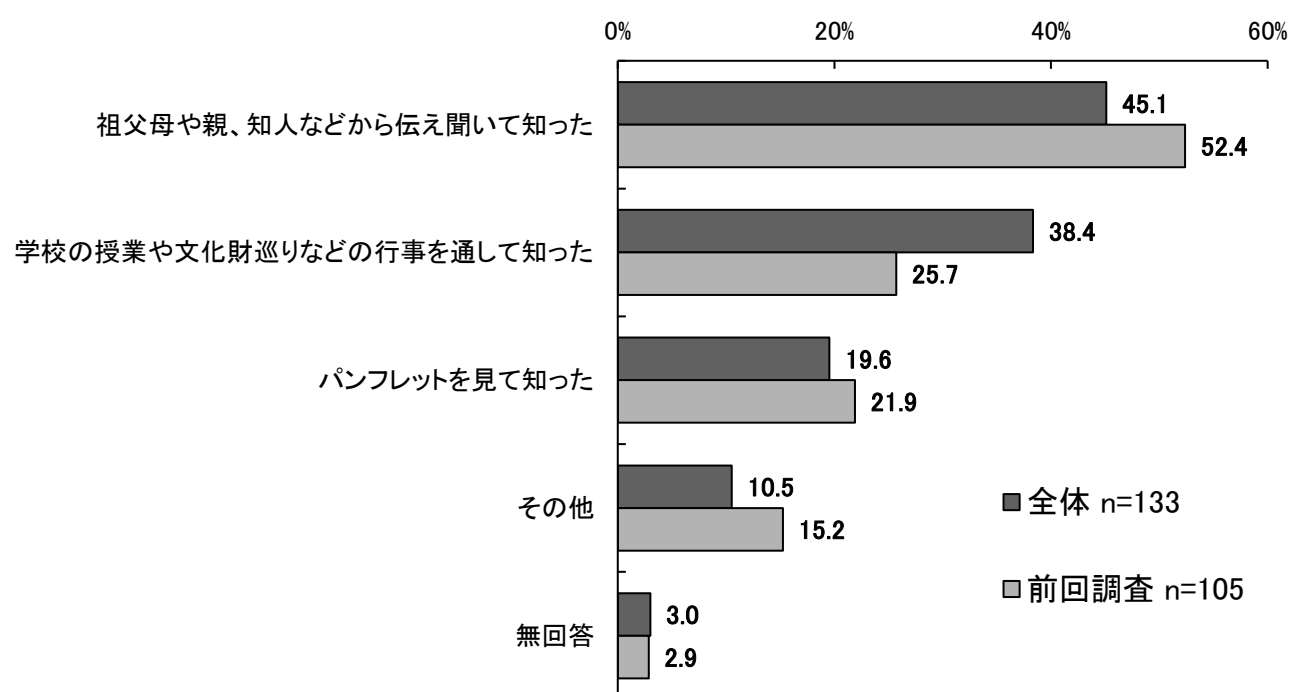
問 5 で「1.」～「3.」に○をつけた方におたずねします。

地震津波碑を知ったきっかけをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

地震津波碑を知ったきっかけは、全体では、「祖父母や親、知人などから伝え聞いて知った」が45.1%と最も高く、次いで「学校の授業や文化財巡りなどの行事を通して知った」38.4%、「パンフレットを見て知った」19.6%となっています。

前回調査と比較すると、「学校の授業や文化財巡りなどの行事を通して知った」が12.7ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・ テレビで自主防災会の活動紹介の時
- ・ TV 等
- ・ 普段通る道路脇にある
- ・ 仕事で近くにとめることがあったので見つけました
- ・ 地域の掃除や防災訓練で知る
- ・ 有名人が訪問している記事を見た
- ・ 歴史暦や町史をみて知った
- ・ 自分でしらべた
- ・ 道があるいていて知った
- ・ 仕事関連
- ・ 新聞
- ・ 広報
- ・ 家族に教えてもらった

4. 運動と健康について

問6 運動をする頻度

あなたは普段、どのくらい運動（身近な散歩から本格的なスポーツまで）をしていますか。
（○は1つ）

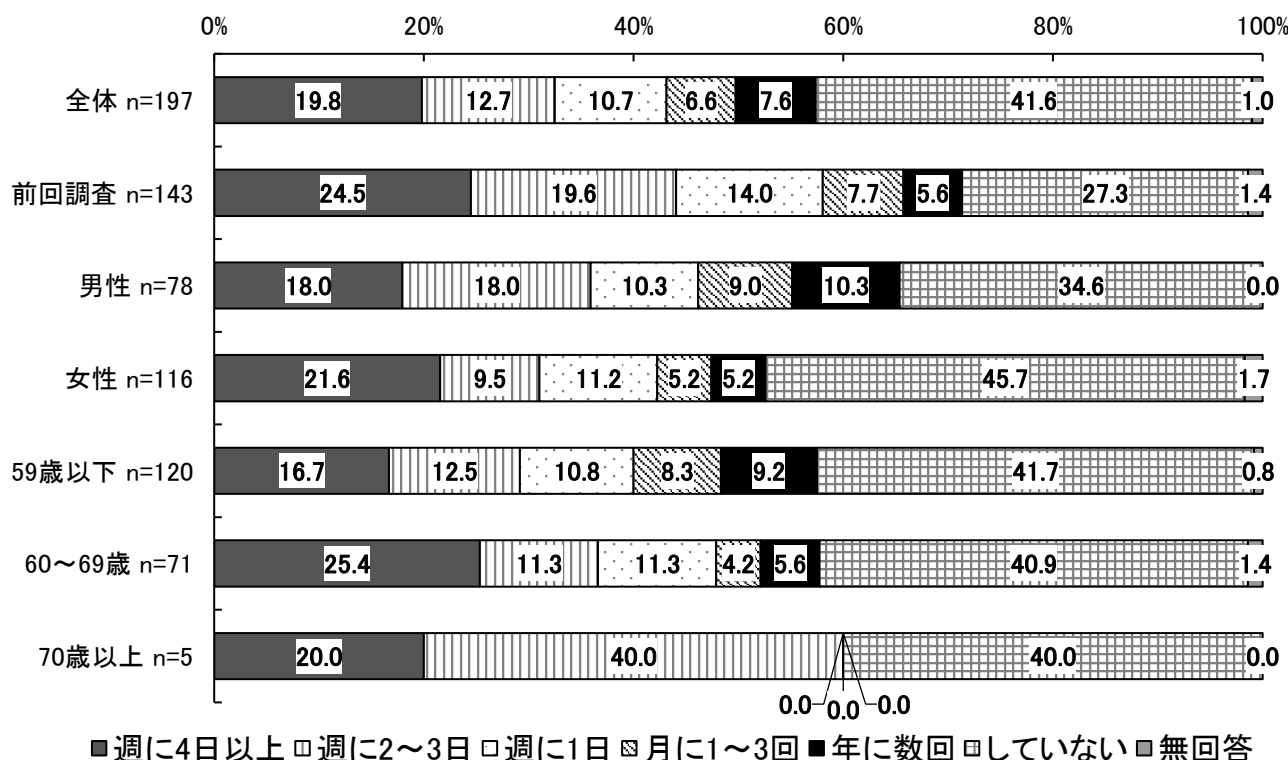
運動をする頻度は、全体では、上位から「していない」41.6%、「週に4日以上」19.8%、「週に2～3日」12.7%、「週に1日」10.7%、「年に数回」7.6%「月に1～3回」6.6%となっています。

前回調査と比較すると、「していない」が14.3ポイント増加しています。

性別でみると、男性は“週に1日以上”（「週に4日以上」、「週に2～3日」、「週に1日」の合計。以下同様）が46.3%、“月間や年間に数回”（「月に1～3回」、「年に数回」の合計。以下同様）が19.3%、「していない」が34.6%、女性は“週に1日以上”が42.3%、“月間や年間に数回”が10.4%、「していない」が45.7%となっており、男性の方が運動をする頻度が高くなっています。

年齢別にみると、“週に1日以上”の割合は、70歳以上が60.0%と最も高く、59歳以下（40.0%）と比較して、20.0ポイント上回っています。「していない」の割合が最も高いのは59歳以下（41.7%）で、年齢層が高くなるにつれて、その割合は低くなっています。

【全体・前回調査・性別・年齢】



問6 - 1 運動をする理由

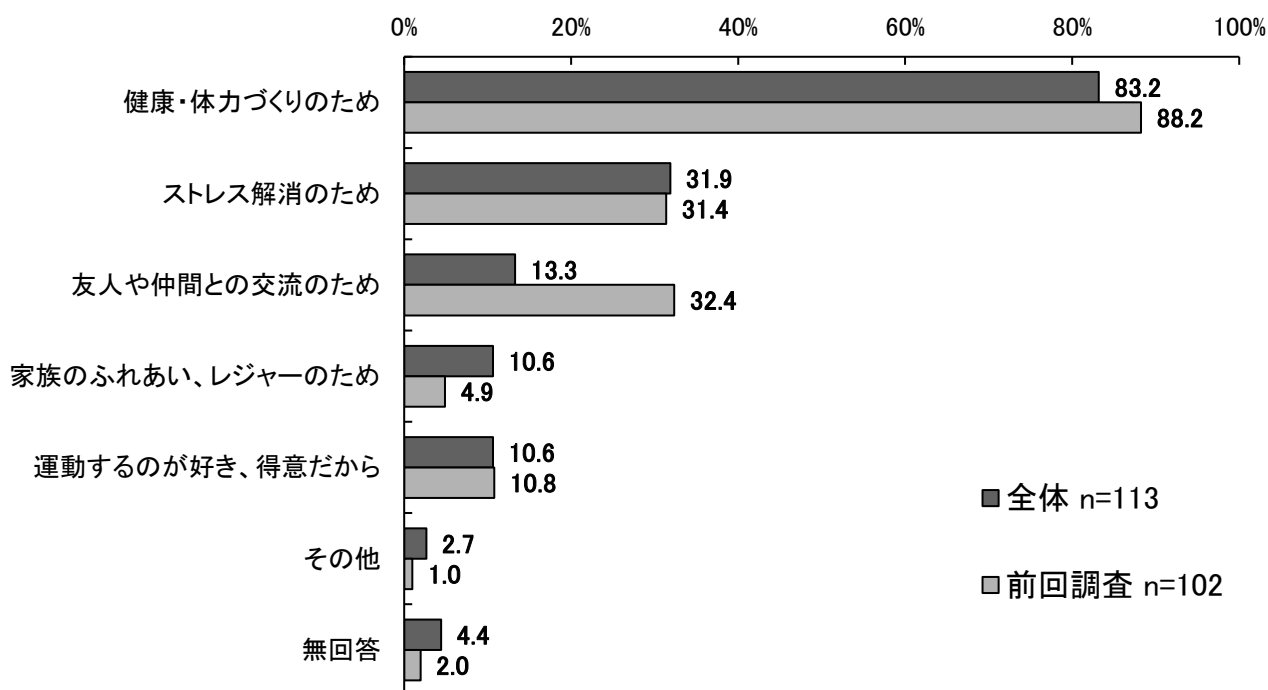
問6で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。

運動をする理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

運動をする理由は、上位から「健康・体力づくりのため」83.2%、「ストレス解消のため」31.9%、「友人や仲間との交流のため」13.3%などの順となっています。「健康・体力づくりのため」が51.3ポイント以上、他を大きく上回っています。

前回調査と比較すると、「友人や仲間との交流のため」が19.1ポイント減少しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・ 犬の散歩
- ・ 子どもたちに教える
- ・ スポーツ少年団の指導
- ・ 子どもや一般の方への指導

問6－2 運動をしない理由

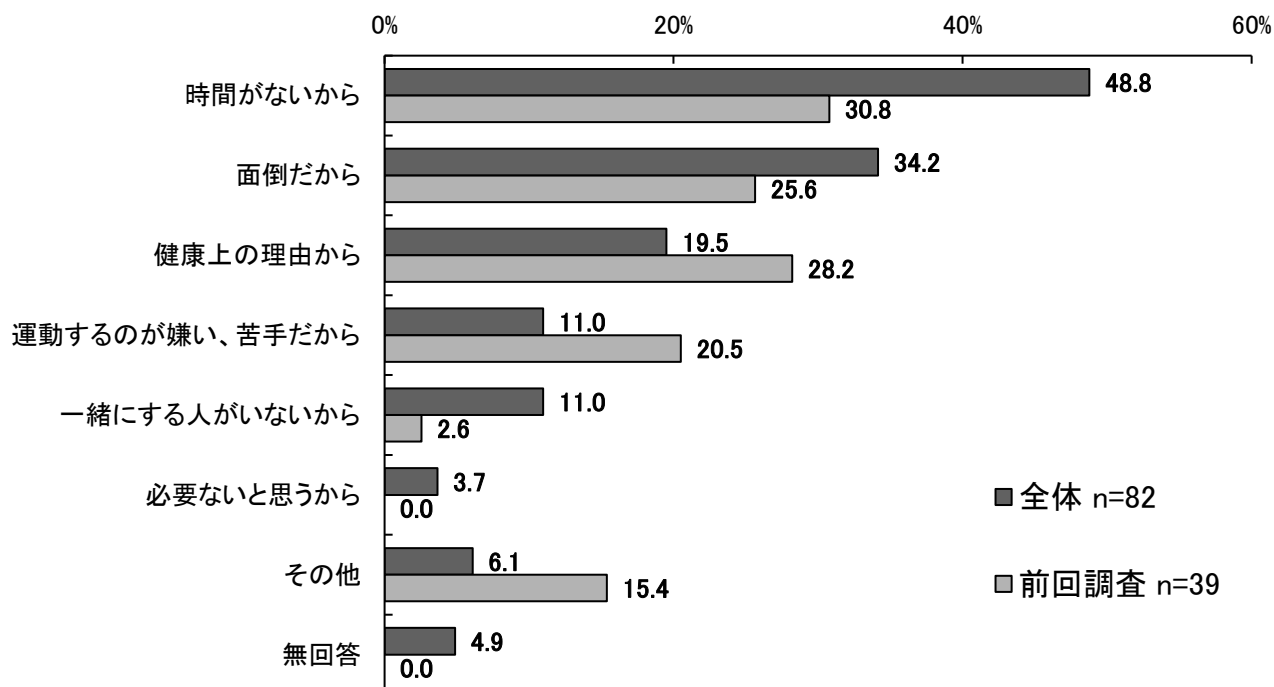
問6で「6. していない」に○をつけた方におたずねします。

運動をしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

運動をしない理由は、上位から「時間がないから」48.8%、「面倒だから」34.2%、「健康上の理由から」19.5%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「時間がないから」が18.0ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・ つづけることができない
- ・ 家の周辺の草ぬきゴミ拾いがけっこうしんどいから
- ・ 農作業で充分運動になっていると思っている
- ・ 仕事の勤務が早い為
- ・ 仕事で体を動かしているから
- ・ 体力を使う仕事をしているので運動をするのは少しつらい
- ・ 体力作り、筋力作りしたいけど親の介護、パート、畑仕事家事仕事等で
- ・ 飼い犬が亡くなり、散歩の機会無し

問7 町主催の行事に対する参加状況・認知度

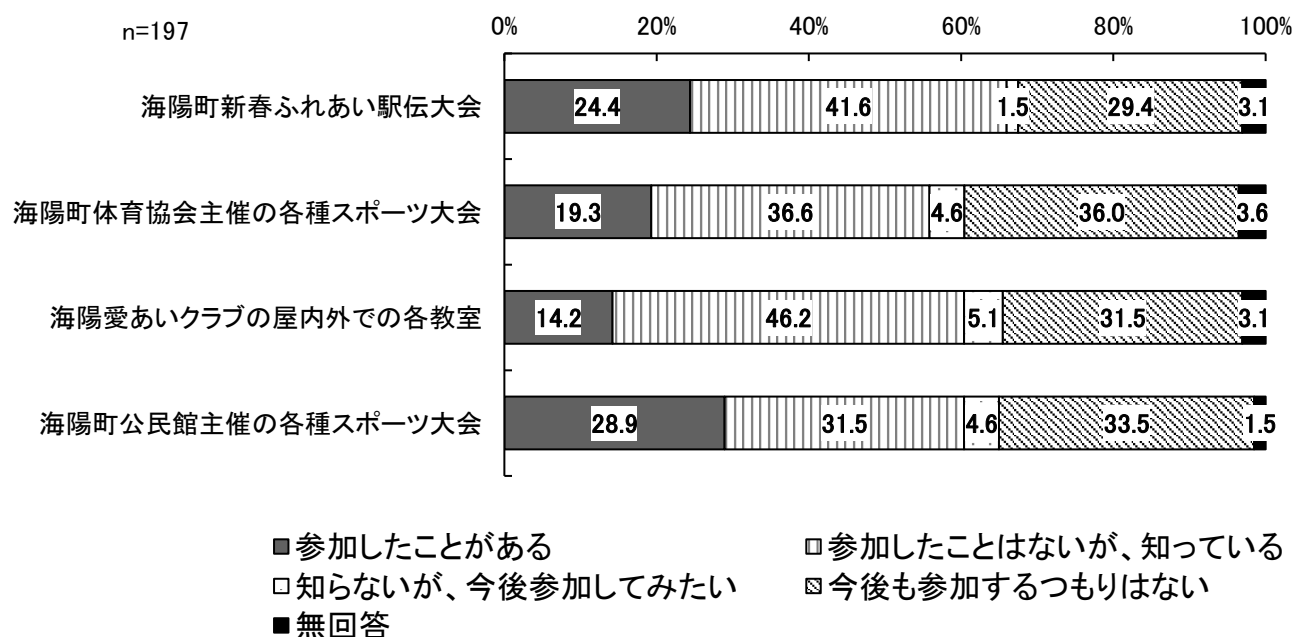
町が主催する次の催しや行事で、あてはまることは何ですか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

町主催の行事に対する参加状況について、「参加したことがある」が最も高いのは、「海陽町公民館主催の各種スポーツ大会」の28.9%、次いで「海陽町新春ふれあい駅伝大会」24.4%などの順となっています。

認知度については、“知っている”（「参加したことがある」と「参加したことはないが、知っている」の合計。以下同様）が最も高いのは、「海陽町新春ふれあい駅伝大会」の66.0%となっています。

【全体】



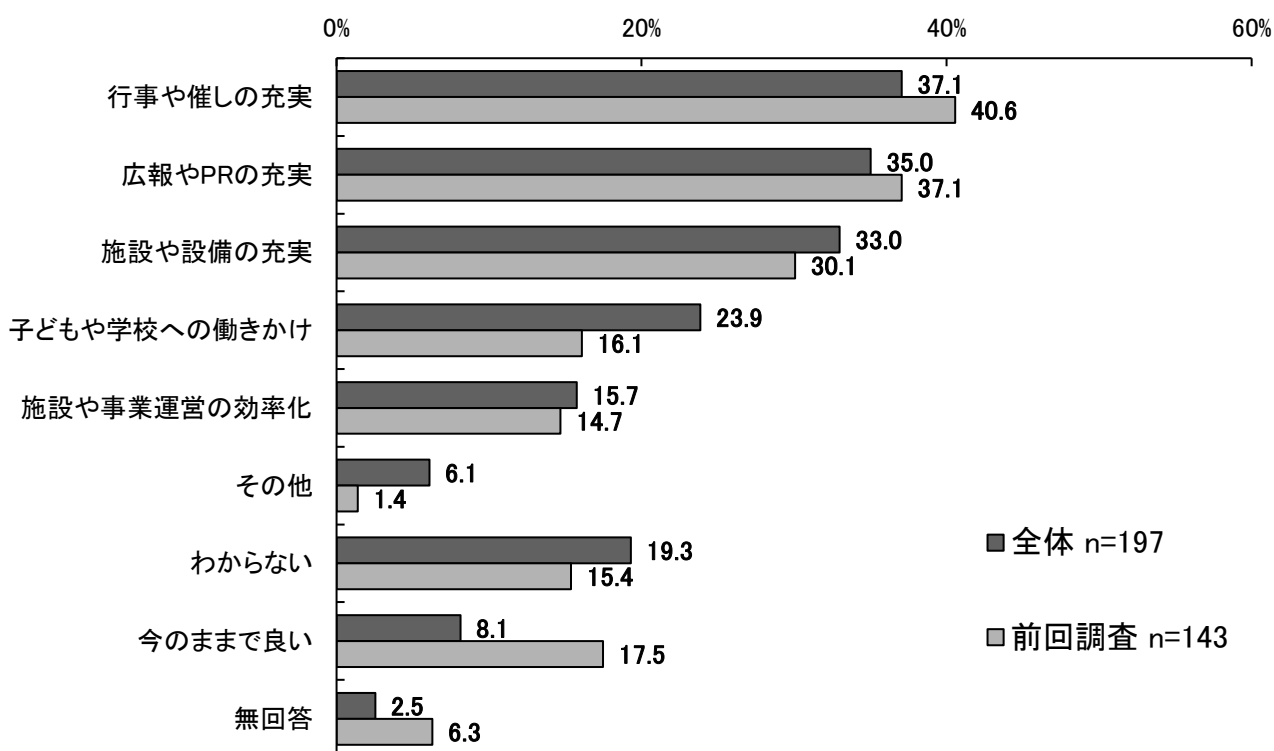
問8 町民のスポーツ・健康づくりを推進するには

町民のスポーツや健康づくりを推進するうえで、町はどのようなことに力を入れると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

町民のスポーツ・健康づくりを推進するうえで、町が力を入れると良いことは、上位から「行事や催しの充実」37.1%、「広報やPRの充実」35.0%、「施設や設備の充実」33.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「子どもや学校への働きかけ」が7.8ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・補助金や無料で使えるようにする
- ・交通弱者の移動手段
- ・車でなければ行けない所に住んでる人が多いとおもうのでスポーツ大会参加難しいです
- ・町民運動会の参加賞のようなものがあればたのしいのでは。スタンプカードを作り参加するたびためていってスタンプがいっぱいになったら町内で金券として使えるとか。あえてアナログの方が良いと思います。
- ・意識の向上を図る
- ・参加してもらいたい方に参加しやすい時間帯で提供できるようにする
- ・健康診断で黄色信号の人は病院の先生と協力して町民の人にもスポーツしてもらって行事に参加してもらう
- ・ちゃんとした公衆トイレをつくってほしい

- ・公衆トイレが古い和式から様式にかえてほしい
- ・広報に健康づくりの記事を連載する
- ・スタッフの充実《マンパワー》
- ・障害がある人でも一緒に出来るスポーツなど全員参加しやすい何か。
- ・マージャン大会
- ・健康づくりを推進する上で無料の検診クーポンはすごくいいです。
- ・参加してみたいと思う面白い企画なら参加したい
- ・サーフィン以外の海や海部川でのアクティビティ
- ・町営放送でラジオ体操を流す（年配者も馴染みがあるので自宅でもできる）
- ・自然の中、一人で歩くのが好きで毎日歩いていますが、同じように一人で歩いている人はわりといます。危険のない、女性が一人でも安心して歩けるコースがあればなあ…と、よく思います。

5. 地域と学校教育とのかかわりについて

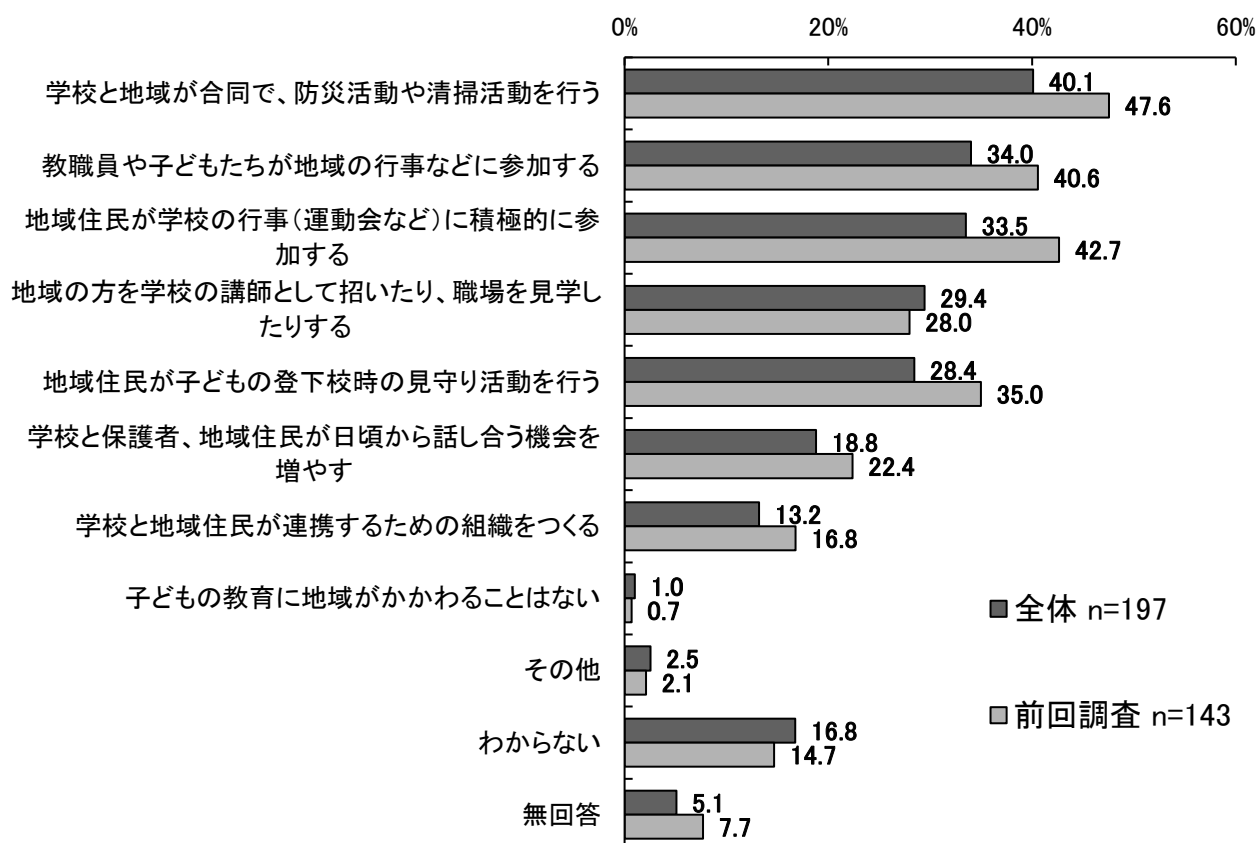
問9 子どもの教育と地域のかかわりに必要なこと

あなたは、子どもの教育と地域のかかわりについて、どのようなことが必要と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもの教育と地域のかかわりに必要なことは、全体では、上位から「学校と地域が合同で、防災活動や清掃活動を行う」40.1%、「教職員や子どもたちが地域の行事などに参加する」34.0%、「地域住民が学校の行事（運動会など）に積極的に参加する」33.5%となっています。50%を超えるものはなく、回答は多岐にわたっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・ 現在子供が少ないので色々な行事が出来ないし老人と子供ではあまりできないことがない。お互い負担にならないためにはどうすればよいか考えてほしい
- ・ 教育者側が学びに行ける受けることができやすい環境から必要ではないか
- ・ 地域全体で子供を育てるという意識を持つ
- ・ 1～2年前から小学校の通学路に保護者が立つのを見かけない
- ・ 朝のあいさつ 機会が増えるようにする
- ・ 子供達が地域の祭りに参加することで親や祖父母も参加するようになるのでいいと思う。宍喰ではこどもがみこしをかついだりしています。

- ・ 学童が 17 時迄でなく 18 時半又は 19 時迄必要
- ・ 昔と状況が違う、リアルではなく、アバターでいいのではないのか！
- ・ そもそも親世帯が地域との関わりが薄い。無理に関わりを持たなくても生活のなかで関われば十分なのでは？ 必要な関わりは自然とつながる。

問10 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」について

あなたは、町内のすべての小・中学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」を進めて、保護者や地域の方々が学校運営や子どもの育成に関わっていることを知っていますか。

(1つに○)

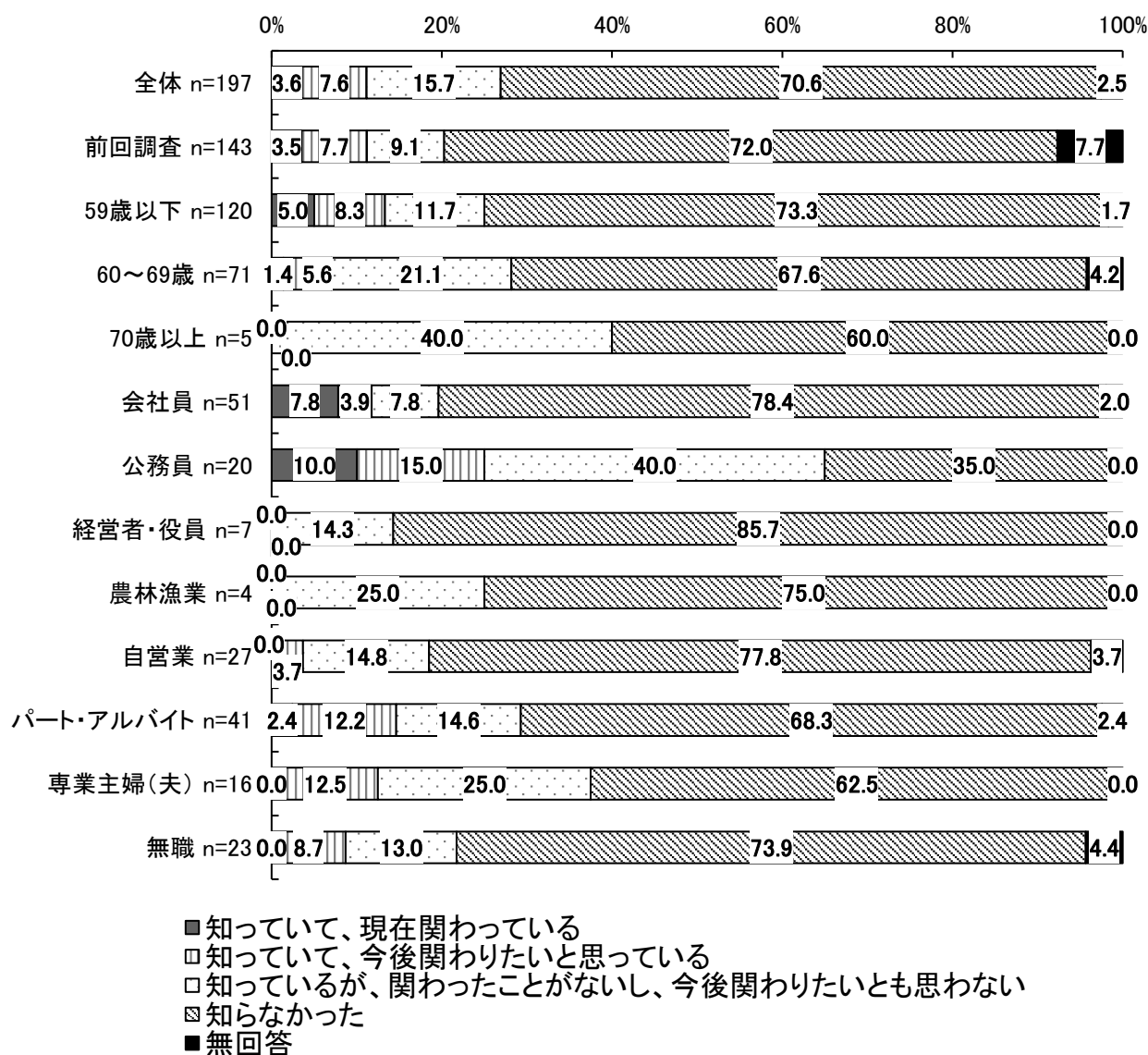
コミュニティ・スクールの認知度は、全体では、「知らなかった」70.6%、“知っている”（「知っていて、現在関わっている」と「知っていて、今後関わりたいと思っている」、「知っているが、関わったことがないし、今後関わりたいとも思わない」の合計。以下同様）が26.9%となっています。

前回調査と比較すると、“知っている”が6.6ポイント増加しています。

年齢別にみると、59歳以下は「知らなかった」が最も高く（73.3%）、年齢が高くなるにつれて、“知っている”の割合が高くなっています。

職業別にみると、パート・アルバイト、専業主婦（夫）で「知っていて、今後関わりたいと思っている」が1割を超えています。

【全体・前回調査・年齢・職業】



問 11 町内の小・中学校の教育への協力

あなたは、町内の小・中学校の教育に関して、何か協力できる機会があれば協力したいと思いますか。(1つに○)

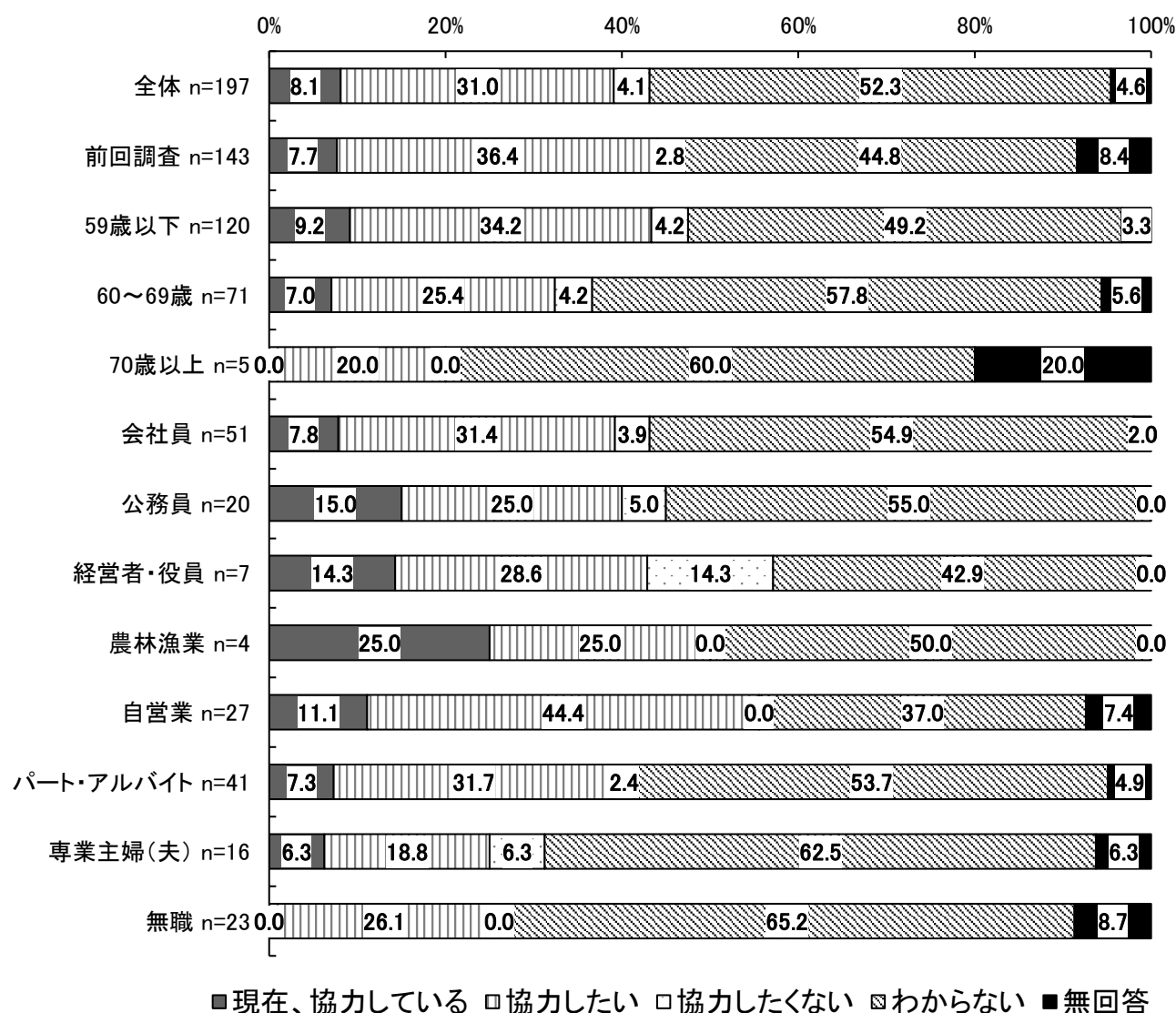
小・中学校の教育への協力について、全体では、“協力していきたい”(「現在、協力している」と「協力したい」の合計。以下同様)が39.1%、「協力したくない」が4.1%、「わからない」が52.3%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

年齢別にみると、“協力していきたい”は59歳以下が43.4%と最も高く、年齢層が高くなるにつれて、その割合は低くなっています。

職業別にみると、“協力していきたい”の割合が高いのは、自営業(55.5%)、農林漁業(50.0%)、経営者・役員(42.9%)、公務員(40.0%)、会社員(39.2%)、パート・アルバイト(39.0%)、無職(26.1%)、専業主婦(夫)(25.1%)の順となっています。

【全体・前回調査・年齢・職業】



問 1-1-1 協力したいこと・協力できること

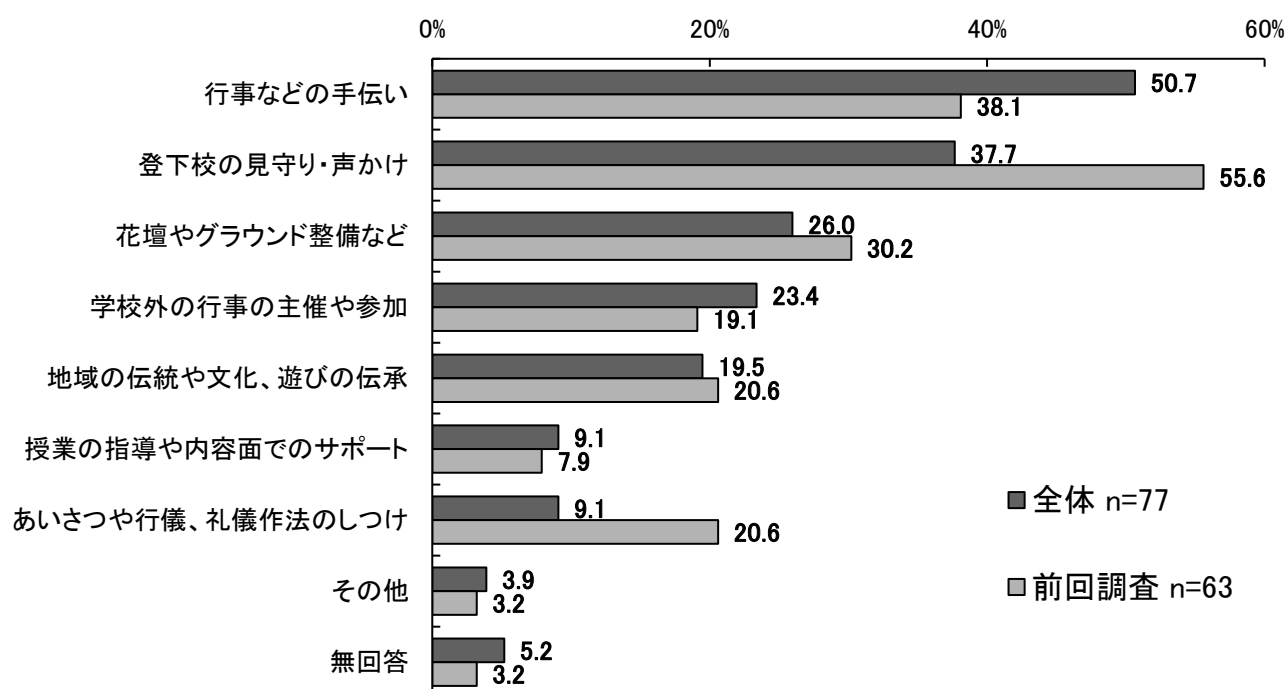
問 1-1 で「1.」「2.」に○をつけた方におたずねします。

協力したいことや協力できることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

協力したいこと・協力できることは、全体では、上位から「行事などの手伝い」50.7%、「登下校の見守り・声かけ」37.7%、「花壇やグラウンド整備など」26.0%となっています。

前回調査と比較すると、「行事などの手伝い」が12.6ポイント増加している一方で、「登下校の見守り・声かけ」が17.9ポイント減少しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・募金
- ・発育、口腔機能向上
- ・スポーツ指導
- ・自分に出来る事
- ・協力できることが、今はまだ見つからない。
- ・猫の TNR を勧める命の授業を行っています

3. 町内の小・中学校について

問12 充実・改善してほしい学校の施設・設備について

あなたは、学校の施設・設備などで、特に充実・改善してほしいことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

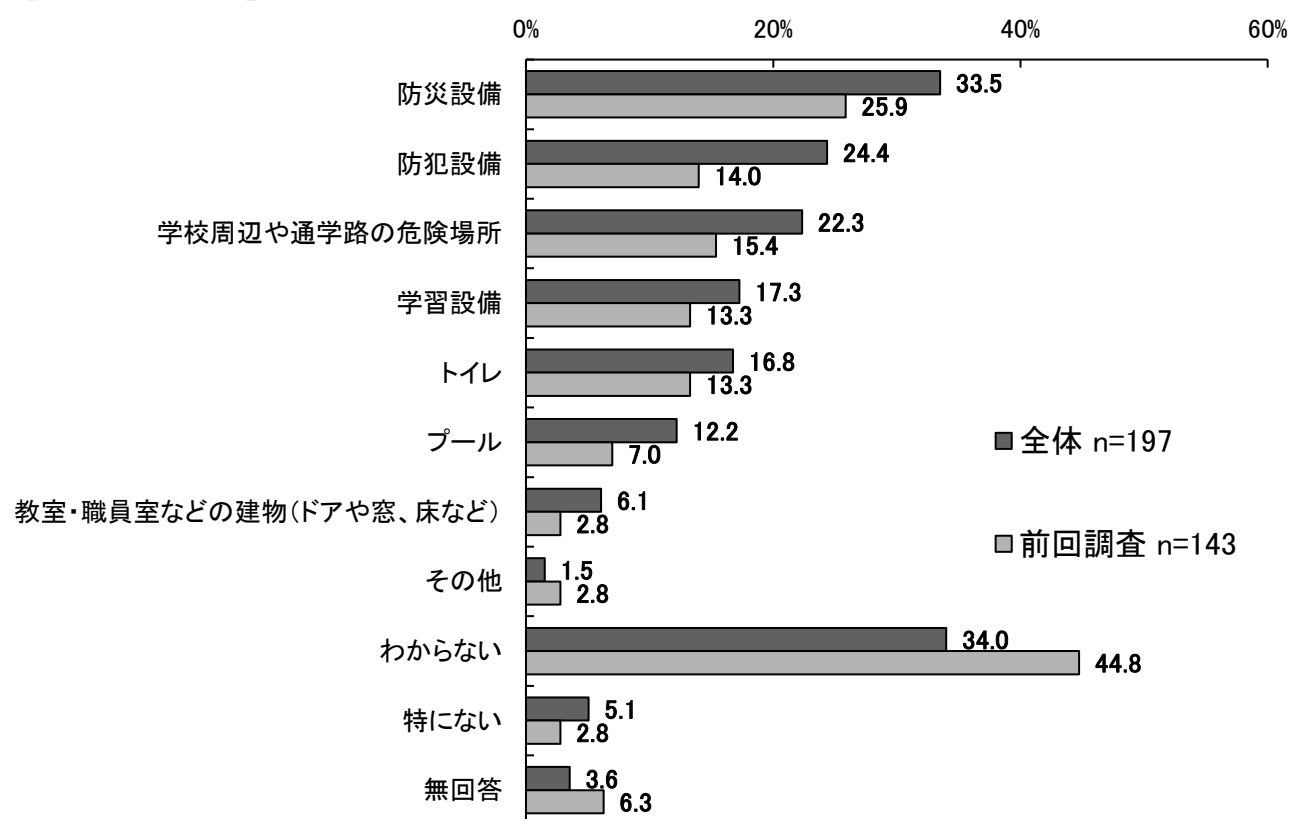
学校の施設・設備などで、特に充実・改善してほしいことは、上位から「防災設備」33.5%、「防犯設備」24.4%、「学校周辺や通学路の危険場所」22.3%となっています。また、「わからない」も34.0%と高くなっています。

前回調査と比較すると、多くの項目で増加傾向にあり、回答は多岐にわたっています。

居住地区別にみると、「防災設備」は、宍喰地区が34.5%と最も割合が高くなっています。「学校周辺や通学路の危険場所」は海南地区（24.1%）が最も高く、海部地区（14.8%）と比較して、9.3ポイントの差があります。「学習設備」は、最も高い海部地区（25.9%）と最も低い海南地区（13.4%）では、12.5ポイントの差となっています。

年齢別にみると、「防災設備」、「防犯設備」は70歳以上が66.7%と最も高く、59歳以下、60～69歳を大きく上回っています。

【全体・前回調査】

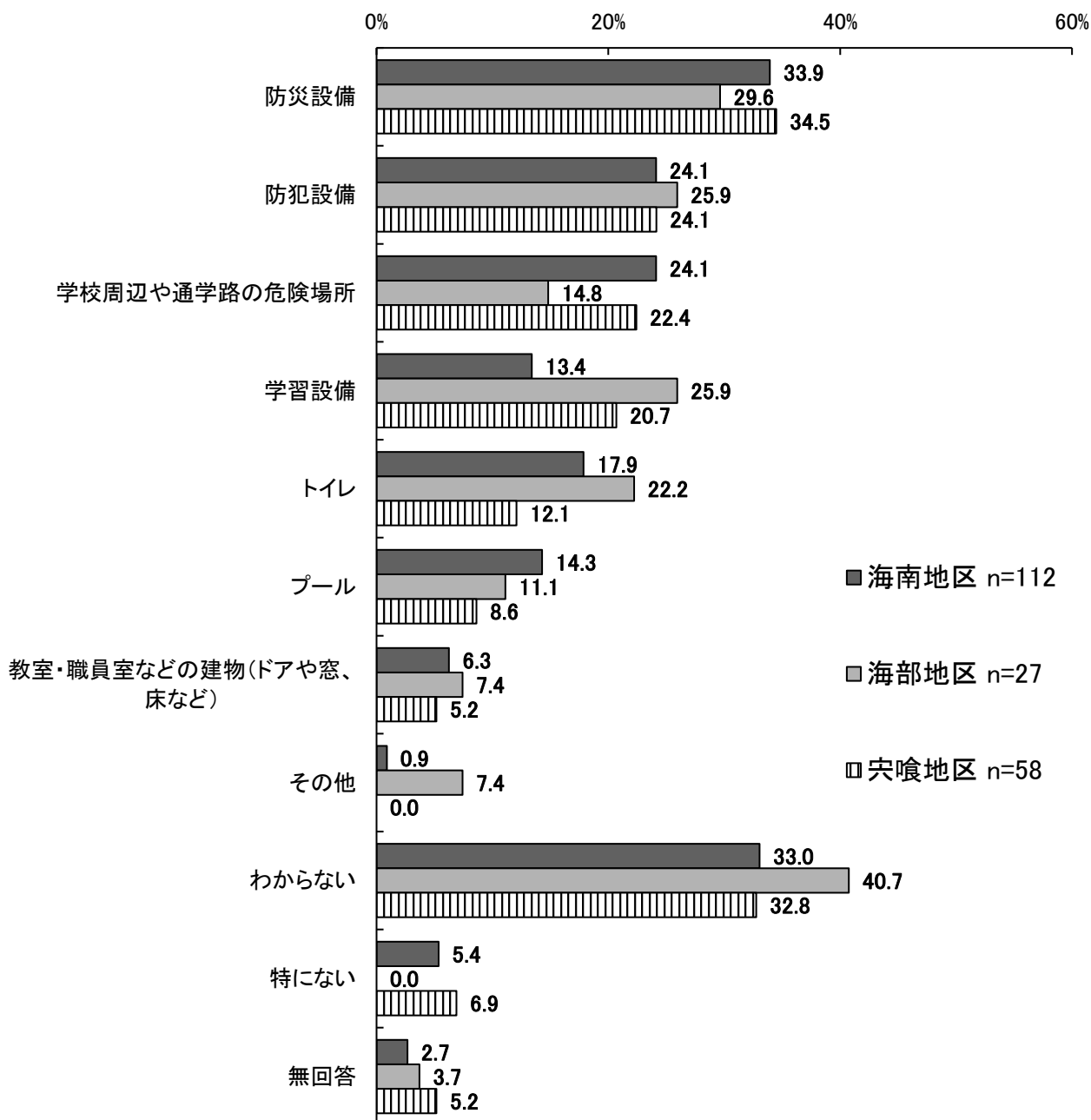


(その他の回答)

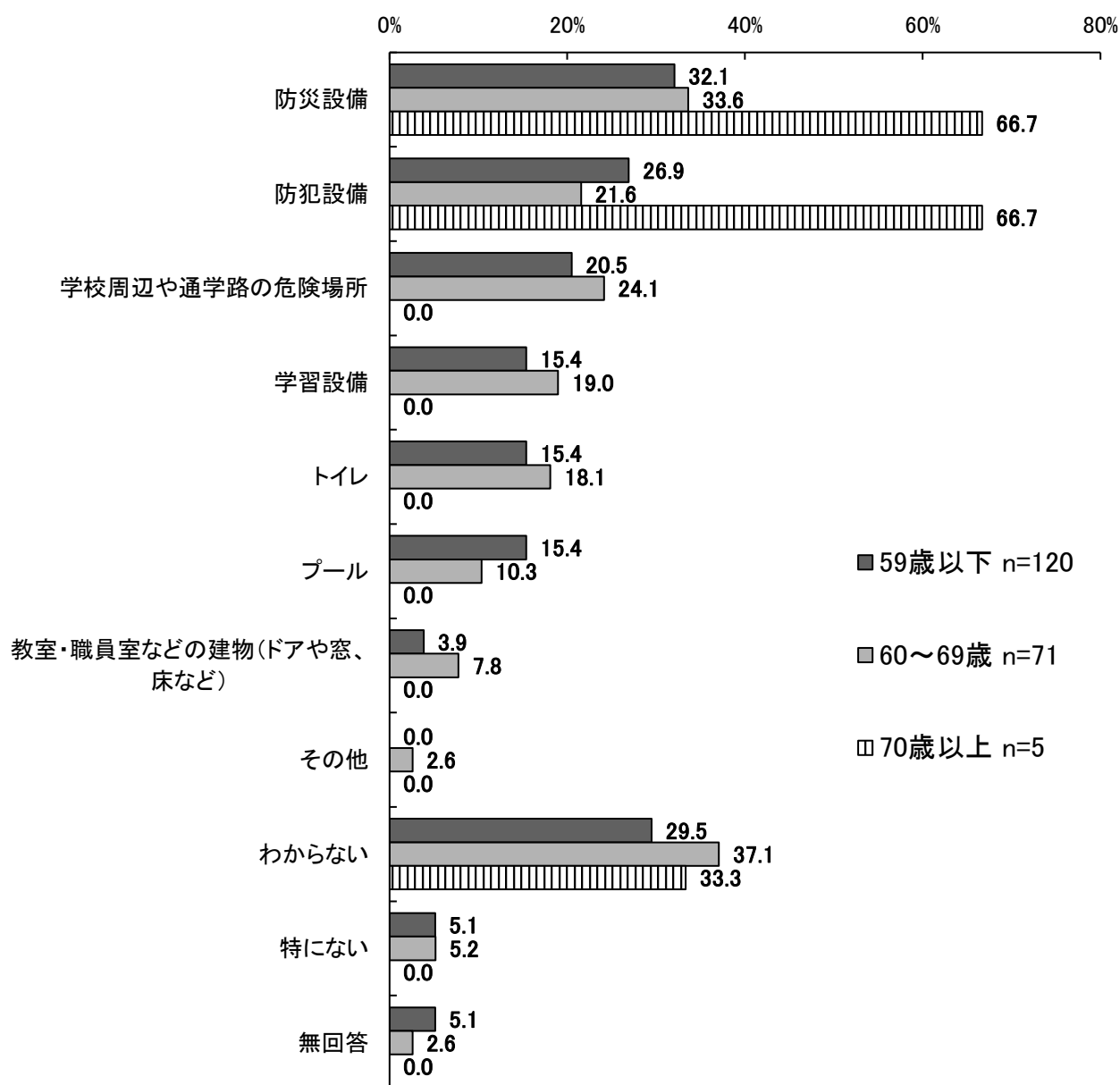
- ・今の学校に行ったことがないので
- ・見ていないから
- ・道に草がたくさん伸びていてそれを自転車や歩く人やシルバー車が通るときすごく危ないと思います

- ・ 学校内の設備が現在どうなっているかわからないので改善点等わかりません
- ・ 自転車置き場から雨にぬれなくても校舎に入れる通路のようなもの
- ・ 体育館含む空調設備
- ・ 子供が身近にいないので現状がわからないが、学習の選択肢は多い方が良いと思います。

【地区別】



【年齢別】



問 1 3 児童・生徒の減少が子どもに与える影響

町では、少子化により、小・中学校の児童数・生徒数が減ることが予測されています。

児童や生徒の人数が減ることで、子どもにどのような影響があると考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

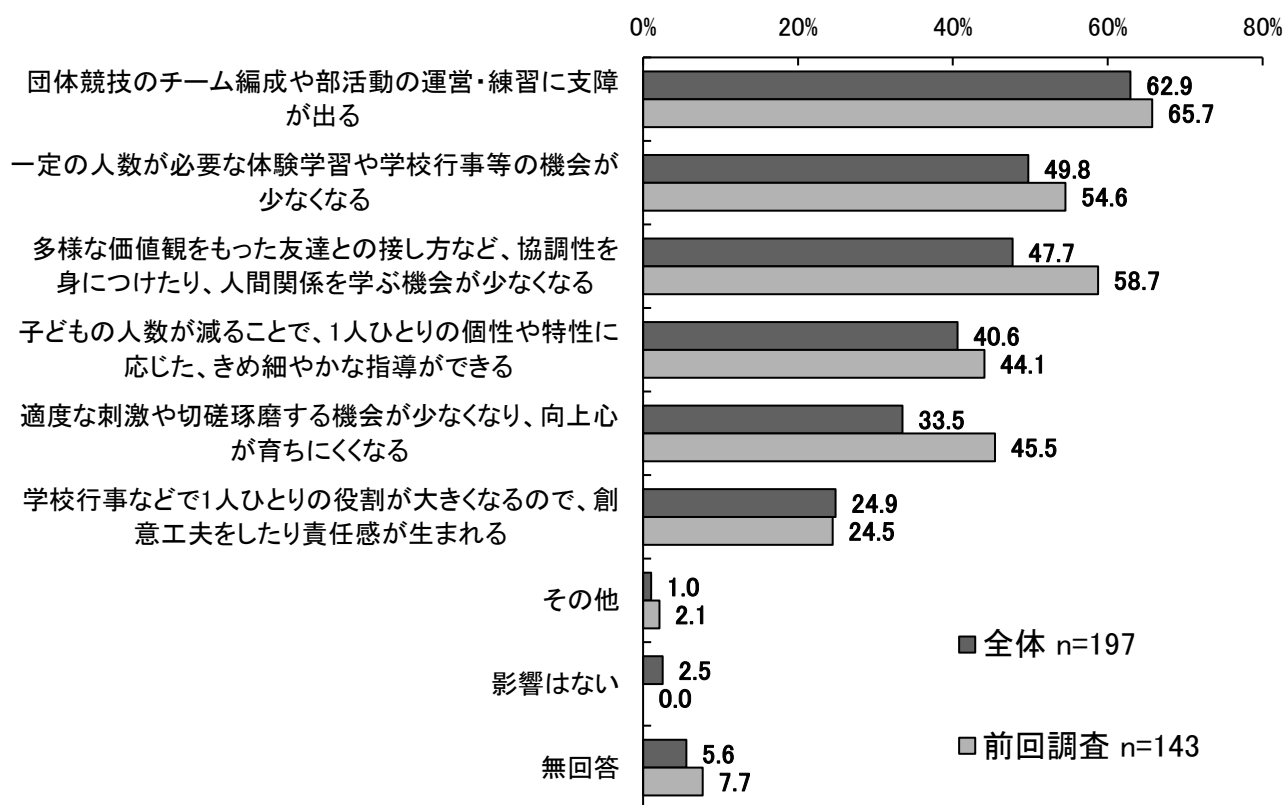
児童や生徒の減少が子どもに与える影響について、全体では、上位から「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」62.9%、「一定の人数が必要な体験学習や学校行事等の機会が少なくなる」49.8%、「多様な価値観をもった友達との接し方など、協調性を身につけたり、人間関係を学ぶ機会が少なくなる」47.7%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「多様な価値観をもった友達との接し方など、協調性を身につけたり、人間関係を学ぶ機会が少なくなる」が11.0ポイント減少しています。

居住地区別にみると、「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」は、穴喰地区で70.7%と最も高く、海南地区(58.9%)と比較すると、11.8ポイントの差があります。

年齢別にみると、「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」を除く項目で60～69歳の割合が、他の年代に比べて高い傾向にあります。

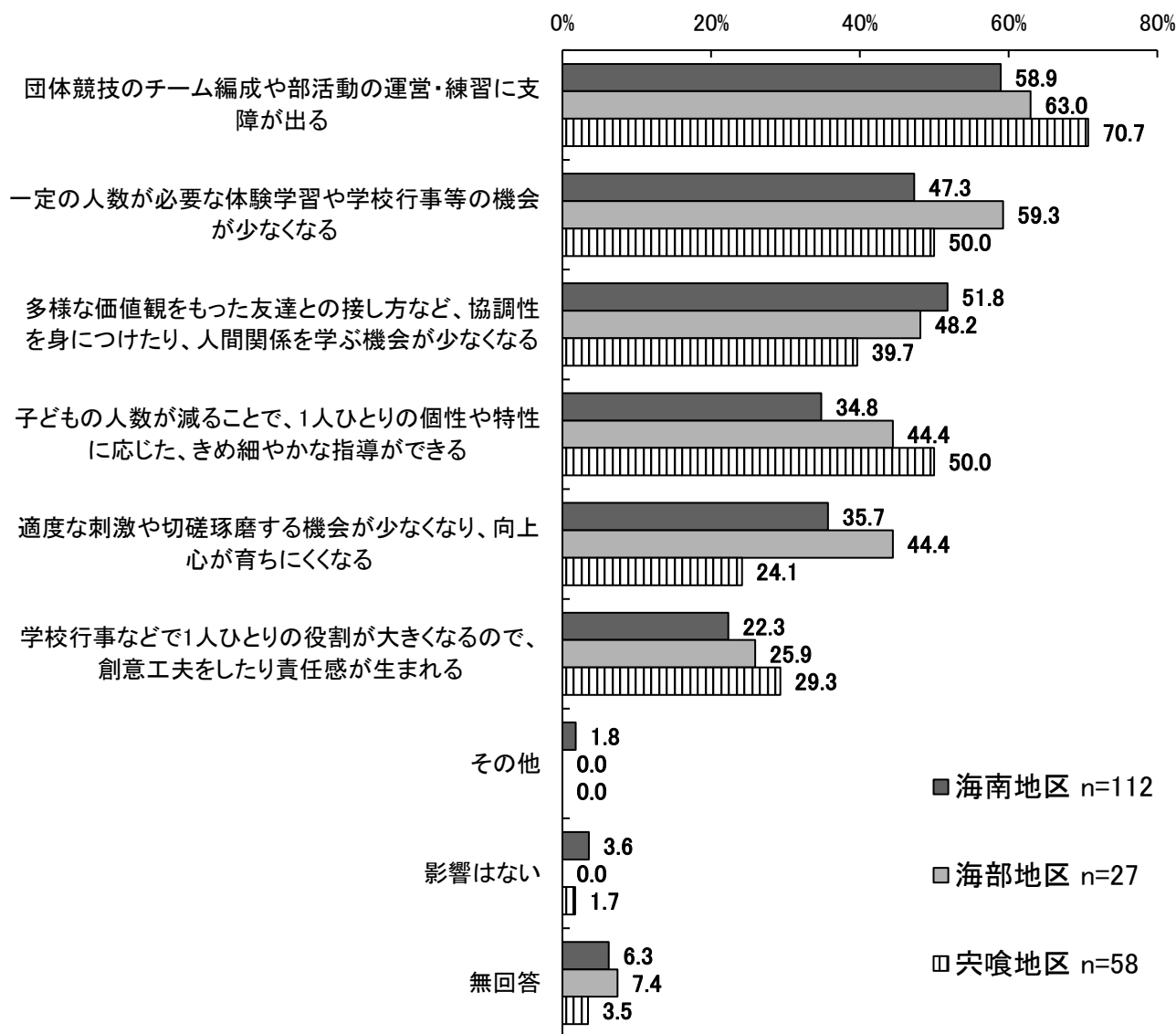
【全体・前回調査】



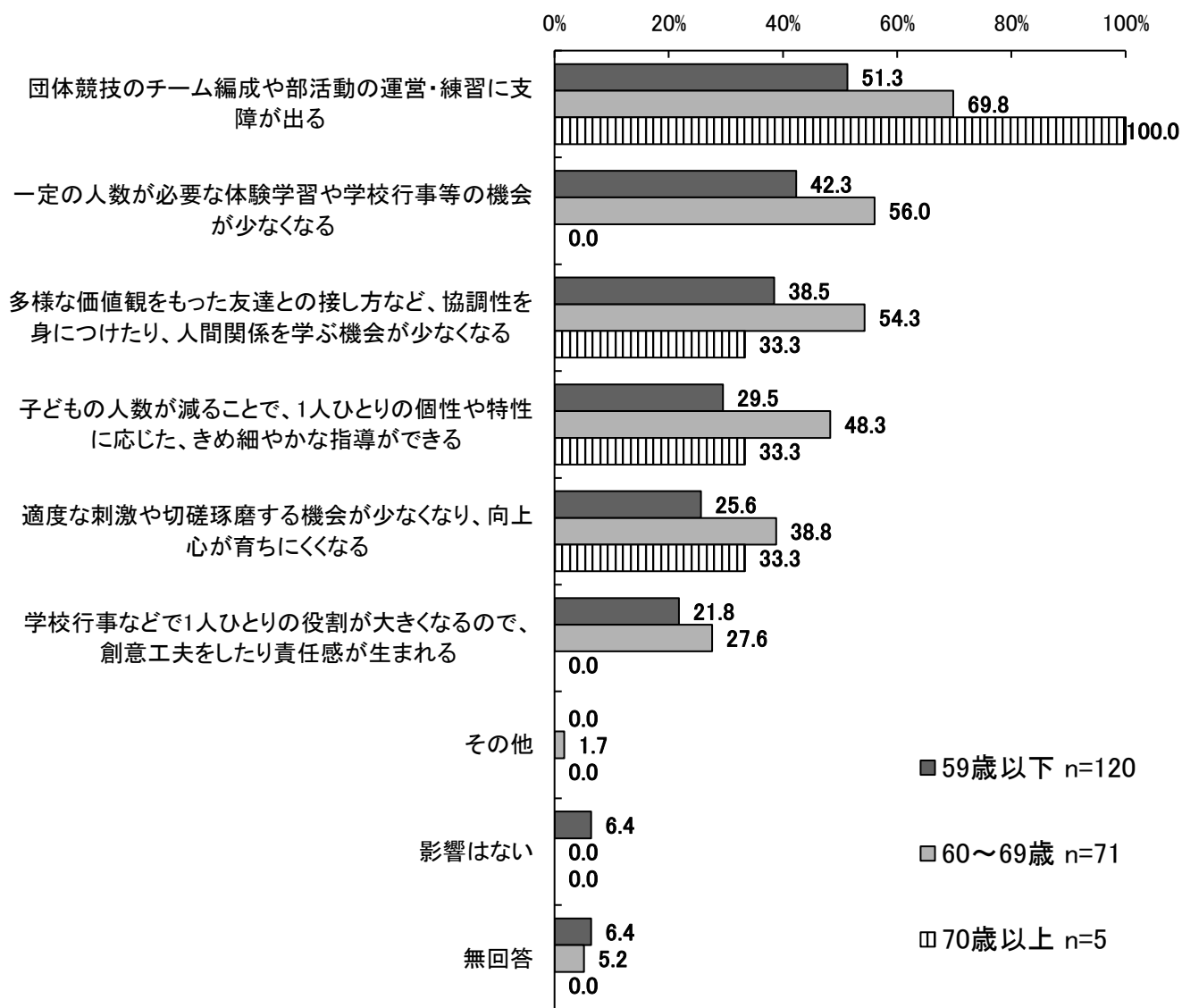
(その他の回答)

- ・ わからない
- ・ 人としての生き方や社会性を学ぶには多い方が望ましい。

【地区別】



【年齢別】



問 14 学校再編・統合に関するご意見

学校再編・統合について、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

・ 地元の学校を残したいと思うのはみんな同じだけれど子供のことを考えると統合した方が良いと思います。体育も1～3学年で行っていてそれはそれで全学年交流できて良いのですが統合して同じ学年で出来れば良いなと思います。
・ 子供の人数が減る為。
・ 学校を統合してクラスの人数を増やす必要があると思う子供の教育の為。
・ 穴喰地区の生徒が海南地区に通学するには通学路の距離と安全性に不安がある子供と親の負担が多くなると思う。
・ 児童や生徒の減少で学校統合を考えては良いのでは。
・ 中学校が来年度より茶道部がなくなり日本の伝統などを教わる場が少なくなるのでなんらかの形で子供たちが学べる場所の確保をしてほしいです。
・ 子供たちに負担の無い様に。(根性も必要かと思いますが)切磋琢磨とか多様性とか多人数の良さもありますけど個人個人みえなくなる怖さもあります。おおらかな性格の子が何人かいれば潤滑油になってくれます。田舎の良さだと思います。まあ学年ごとの個性も確かにありますがね!IターンやUターンも刺激になるし悪いことばかりではありませんが通学のストレスをどうするかですよね。
・ 生徒数が少なくなれば子供たちの個性も発揮できなくなる様な気がします。統合は仕方ないと思います。
・ スポーツ等団体競技が出来ないが学年皆でする競技等全員が参加することになりいいじめがないと思います。自分の子供達は、小学校の時みんな仲が良くて良かった差別もなく中学に行ってからいいじめや差別があり中学時心が一番いやだったと話しております。人数が多いと先生方の目も届きにくいと思いますが、... 高校生になると子供達にも良識が出来あちこちの地域から通学する子も多いのでそれに勉強やスポーツに忙しくいいじめや差別がないように思います。他校のことはわかりませんが、... なるべく統合しないほうがいいと思います。
・ 統合するとメリットよりもデメリットの方が大きくなるのではないかと思います。統合しないで中身を充実させる方法を探っていくほうが良いのでは。
・ 今の子供にとってより良い結果になることが望ましい子どもがどんな意見や思いを持っているのか知りたいし、その思いにそえるようにするのが良いと思う。
・ 少子化がとまらないので早く統合してその中で子供達の為に出来ることを対応していく方が良い。
・ 少子化はどこの県も同じ各都道府県の学校視察が必要。
・ のびのび育てましょう。
・ 学校規模が過度に小さくなると教育活動に支障がでて生徒の成長が十分に望めなくなるので適切な時期に統合を図ることが必要と思う。
・ 少子化が進んでいるため学校再編や統合は仕方ないと思う。今は小中学校別々で運動会を行っているが一緒にしてはどうか。少子化だがスポーツは多種あり特に個人競技を選択する子もふえている。そうするとバレーボールや野球サッカー、バスケットボールなど人数がそろわないとできない競技は衰退してしまうのではないかと考える。子供の個性に合った指導も必要であり指導者の育成も必要だと思う。

・ 学校統合すると範囲が広がる。遠い地域の子は学校就業したらすぐに帰途につかなければならず他地域の子とふれ合いが少なくなるのではと思う。そのあたり、何かで補う事があればいいと思う。もしかしたら、今は学童がそれなのかとも思う。
・ 子供の少子化や高齢者が増え地域住民の横つながりも希薄になっています。っ若者が都会へ移住するケースに歯止めがききにくいでしょうたいです。教育現場での教師の方々の努力は私達が子育てをしていたものとは異なった教育指導を要求されるとおもいます。子供達の対応の難しさもあろうかと思いますが先生方の対応に期待します。
・ 現在の状況で考えているので50年先の状態を考慮してほしい。
・ 穴喰小学校、中学校が海陽と合併になるのは反対です。海陽に毎日通うとなると子供の負担だけでなく親や祖父母の負担も必ず増えます。穴喰商業がなくなり穴喰はさびれました。その上、小中学校までも海陽に行けばおそらく若者は穴喰に住まなくなります。学校が1つ減るということはその学校の教員の数も減り、その子供も減ります。1年前に学校再編成の説明会がありましたが数名程度の出席でした。それほど穴喰は反対しています。もう少し穴喰住民の生の声を聞いて頂けたら幸いです。
・ 必要であれば再編。
・ 再編や統合で仮に17時に小学1年生が学校から出されると安全面に大いに課題がある。
・ 統合された地域は衰退するかもしれないが、小中1校体制に集約する方が、教育のICT化グローバル化が効率的に進められると思う。総合的に判断することを望む。
・ 通学は大変になると思いますが、中学校は1つにしてもいいと思います。
・ 統合し学習やクラブ活動を集団で活動できるようにする方が良いのではと思う。
・ 子供の人数が少なくなり、統合するのは仕方ないことだと思うが、穴喰地区は海部、海南と離れているため、維持できる限り穴喰地区単独での学校存続をした方がいいと思う。
・ 統合により多様な考え方に触れ合うことができるのは良いことだと思う。しかし、人数が増えることで少人数ならではのきめ細やかな指導や対応が受けられなくなるかもしれない。
・ 現状(教育環境)が明確にわからないのでわかりかねる。
・ 学校再編、統合には賛成です。こども達が切磋琢磨して集団の中で育っていく為には、ある程度の人数が必要だと感じています。ただ、出来るだけ多くの地域の方々に理解して頂けるよう、丁寧な説明が必要だと感じています。計画的に建設的な意見をもって進めてほしいです。
・ 3町の学校統合は反対。海部、海南、穴喰に学校を残さないとその地域は衰退する。海南にばかり主を置くのは良くない。

問 15 海陽町の学校教育に関するご意見

海陽町の学校教育について、ご意見やお考えをお聞かせください。（自由記述）

・私の周りには子供たちがいないので良くわかりません。
・これから社会にでる子供たちにありがたうおはようございますこんにちはおめんなさいその他というあいさつを心から言えるように人とのコミュニケーションを通して教えてあげてほしい。自然がたくさんあるところでせいかつさせてもらえるのだったらまた子供たちが海陽町をでてまた帰ってきたいと海陽町で生活したいと思えるような学校生活にしてあげてほしい。ここでしかできないことをおしえてあげてほしいと思います。
・子どもの成長を町民が見守っていけるやさしい社会になっていけたらいいと思います。このままでは老人ばかりの町になってしまう。
・少子化で人数が減ることによって出来なくなることもあるでしょうが少人数だからできることがたくさんできるようになると考える方が明るいです。学習面では個別指導が強化され勉強のつまづきが早く解消される。スポーツでは個人競技が優先されるようになり自主性や自律性が養われる。学年を気にせず一緒に取り組む機会が増え協調性が身につく。学校外の地域で世代を超えた交流を増やせばあいさつや礼儀が自然に身につきます。
・先生は日々努力しているとおもいます。なるべく地元の方が望ましい。（いろいろな情報にさらされているので大人も子供も純粋なままという訳にはいきませんがね）時間とか余裕が無いように思います。優秀な方はマルチタスクもこなしている印象がありますけども。とにかく環境を整えてほしいです。
・子育てが終わっているのでも今の教育方針は全然わかりませんが今の高校教育では学位記がなくなるそうです。今でも学力やスポーツに優れた子は他へ進学し野球やバスケットにしても県外などから生徒を集めなければならなくなっております。少子高齢化により将来は群内に小中学校は二校ずつ高校はなくなるかもしれません。教育関係者や御父兄の良識を期待しております。
・独身なので正直わからないことが多い。
・体験活動を充実する。読書活動を充実する。奉仕活動を充実する。感謝の心が育つ教育に重点を置いてほしい。
・海陽町の教育がよく理解できていないのでわかりませんが現場の教員の方々はすごく献身的だと感じます。
・人づくりは教育の影響が大きいと思います。日頃教育関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。益々少子化が進むと思いますが時代が変わり子供が街角に笑顔を届けてくれる時が来ることを願っています。教育関係者の皆様のご健康と益々のご活躍を祈っております。
・地域の人と交流できる場をもうけて欲しい 認知症の人との接し方を子供の時から学んでおくこと。
・海陽町の昔からの成り立ちや良さを知るために多良古墳は1～5号全部を残してほしいと思う今後、貴重な海陽町の宝を私達の時代に壊すべきではないと思います。今の子供達のために残すべきです。
・これは海陽町だけじゃないが、義務教育中に税金のこと（確定申告のやり方など）とか契約書、書類の読み方、書き方など大人になって絶対やらなければいけないことは教えておいてほしい。選挙のルールとか。

・ 穴中周辺の道路があちこち工事中にてう回路になったり工事の進み具合により通学路が変更していますが外灯等もなく危険な気がします。草が覆い茂り視界が悪い箇所もあります。アンケート性別、年齢必要ですか？
・ 海陽町の教育については問題ないです。教師の教育も必要だと思います。
・ 子供の頃はいっぱい遊んでほしい。いっしょうけんめい遊んでほしい。
・ 意見はありませんが他人へ優しくしたり気づかいができることで自分が幸せを感じられるような大人になってもらいたいと思います。
・ ①生徒の学力低下が懸念されるので学力の教育計画を組織的具体的に立てたら良いと思う ②英語教育に力を入れているがその効果がどの程度認められるのか調査して検証することが必要と思う ③教員としての資質能力がない臨時教員は採用を控えるべきかと思う 以上ご検討ください。
・ 自然豊かなこの土地で子供達がイキイキと元気に教育が受けられる体制が必要。高齢者の生涯学習の場も必要であるが子育て支援（ある程度無償で教育が受けられる）必要だと思う。私達の子供が保育所にいっている時は無償ではなく公務員夫婦だったので毎月の保育料がかなりきつかった。低所得者には無償や低料金などの支援があるが（高校、大学 e + c も）公務員はきっちりとした金額を支払わなければならない同じ学校に通学させているのに3年間支払う金額に大きな差が出る。公務員にもやさしい体制にしてください。（特に金銭面で）お金がなくてしんどいのは一緒です。
・ 子育てが終わると子供達の環境に無関心になってしまったなあと思い知らされました。得意なことをどんどん伸ばしていけるような環境が用意されていることを期待します。
・ 学校教育と社会教育を分けてそれぞれに対応した明確な目的を持って取り組んでいる型を住民にわかりやすく提供する。
・ 近年は外国人留学生も入校することもあるかと、まずは少子化を食い止めるのも先決問題だと思います。近年女性の出産率も極めて低く都会に出ていく若者がおおい昨今若者の定住確保魅力のある就業場所の確保が先決問題だと思います。
・ 日本や故郷をたいせつにする教育をしてほしい。
・ 良くしてと思う。
・ 今は IT 面特に AI の進歩はめまぐるしい。大学を出て教員免許を取っただけの教師では、最先端の学びや AI の活用方法など、知るはずがない。補う方法として、外部講師からの先端のリモート授業なども取り入れて、夢膨らむ活気のある風、刺激を生徒に流し入れて欲しい。
・ 小学校の孫がいますが、生徒数が少ないことで一人ひとりに目が届き細やかな対応に感謝している。遅れている生徒にも向き合って下さりありがたく思います。
・ 頑張ってください
・ 家庭での教えもあると思うが挨拶をしない子供ばかりになった。時代なのかもしれないが…

・【修学旅行について】 年々、旅行代が値上がりし、子供も減少しているので、修学旅行の個人負担額が大きく、行けない子供も出てくると思います。旅行の参加人数が増えれば少しでも安くなるんだったら、海陽町内の学校が合同で修学旅行を行うといいかと思います。 日頃から各学校の交流を深めて、他の行事、学習なども一緒にし、町がひとつになれる場があるいいと思います。
・海陽町で育つ子ども達は… 良い環境のもと、良い教育者に恵まれ、自分の個性を出す機会もあり、未来に向かって羽ばたく力のある強くて良い子達に育っていると私は思っています。
・英語教育やICT教育に力を入れていて、将来を見据えた教育が行われていると思う。
・知り合いの話や広報により小学生、中学生が大阪関西万博に行ってきたことを知った。学校関係者および保護者と話し合いを重ね、いろいろな意見に一つ一つ向き合い解決し、参加に至ったとのことであった。児童期や青年期前期は人格形成の段階であり、また、これからの生き方を模索する時期であるともいえる。今回の万博での体験が未来ある子どもたちに何らかのかたちで繋がっていくことと思われる。大屋根リングでの気づき、パビリオンでの学びは子どもたちなりに五感で感じとり自分たちの視野を広げることができたのではないだろうか。いい機会にめぐり会えたこと、引率者の負担は大きなものであったにもかかわらず理解し、保護者の温かい見守りによりとても良い経験ができたと思われる。今回の取り組みはとても素敵であり、「参加する」という行動、一歩踏み出すことの大切さが大人や子どもたちにとって達成感を得ることとなったのではないかと思われる。
・海陽町は自然豊かで、人もあたたかい町です。古き良き物を大切に守りながら、外からの刺激も受け入れ、こども達が心豊かに育っていけるよう、町全体で教育に取り組んでいけるように願っています。
・中学校の部活を外部に委託したらよい。保護者の希望に添って小学生の時から同じ指導者にみてもらえるように。
・英語教育よりもまず故郷を学ぶ機会を増やしてあげてほしい地域の伝統行事や神社仏閣、農業、漁業等海陽町ならではのことを子供時代に体験させて大人になってまた海陽町で住みたいと思える故郷は宝なんだという教育をして下さい 海部高校にもたくさんの郡外、県外から生徒が来ています。野球部員をはじめ一生懸命部活を頑張っている姿、保護者の熱心な姿には本当に感心します。高校生達と小中学との交流や地域の方達との交流の場があれば地域の方達も県外から海陽町を選んできた生徒たちを応援していきたい！また地元高校に進学したいと思えるようになるのではないかと思います 小、中、高の関わりが増えていく機会があればいいですね。